

製品情報	製品カテゴリー	人工内耳											
	商品名	インプラント				PULSARスタンダード電極 PULSAR FLEX24電極 PULSAR FLEX SOFT電極							
	商品コード	—				03042、03699、03701							
	機種番号	COMBI40				—							
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	セラミックス、シリコーン、プラチナ、プラチナイリジウム合金、PC/ABS、ポリアミド樹脂				アルミナセラミックス、シリコーンゴム、プラチナ、プラチナイリジウム合金							
	MR適合性標識	MR conditional				MR conditional							
	安全性(臨床)コメント	・非臨床試験によって、本品は MR Conditional であることが示されている。本品を埋植した患者に対して、以下に示される条件下においては、安全に MR 検査を実施することが可能である【自己認証による】。 ・術後 6 か月以内は MRI を実施しないこと[術後早期にMRIを実施すると、インプラントの移動または損傷を与えることがある]。 ・MRI 室に入る前、全ての体外機器(オーディオプロセッサ及び付属品)を取り外すこと。 ・機械的に故障した本品を埋め込んだ患者はMRIを実施しないこと[患者に損傷を与えることがある]。				・非臨床試験によって、本品は MR Conditional であることが示されている。本品を埋植した患者に対して、以下に示される条件下においては、安全に MR 検査を実施することが可能である【自己認証による】。 ・術後 6 か月以内は MRI を実施しないこと[術後早期にMRIを実施すると、インプラントの移動または損傷を与えることがある]。 ・MRI 室に入る前、全ての体外機器(オーディオプロセッサ及び付属品)を取り外すこと。 ・機械的に故障した本品を埋め込んだ患者はMRIを実施しないこと[患者に損傷を与えることがある]。							
許容される使用条件	許容される使用条件の詳細	0.2Tの場合		1.0Tの場合		1.5Tの場合		0.2Tの場合		1.0Tの場合		1.5Tの場合	
	静磁場強度 [T]	0.2T		1.0T		1.5T		0.2T		1.0T		1.5T	
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T					30T/m						30T/m	
	同上 3T												
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T					<2.0W/kg						<2.0W/kg	
	同上 3T												
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μT] 1.5T												
	同上 3T												
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]												
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T												
	同上 3T												
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T												
	同上 3T												
		その他の使用条件	・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配:30T/m(3,000Gauss/cm) ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate) :3.2W/kg 未満／2.0W/kg 未満(通常操作モード) ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate) :3.2W/kg 未満／2.0W/kg 未満(通常操作モード) ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate) :3.2W/kg 未満(通常操作モード) ・頭部の向き:0.2T では頭部の向きに関する制限はない。		・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配:30T/m(3,000Gauss/cm) ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate) :3.2W/kg 未満／2.0W/kg 未満(通常操作モード) ・頭部の向き:1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、頭部の縦軸(矢状軸)は、スキヤナの主磁場と平行になるようにすること。例えば、頭部をまっすぐにした仰臥位が該当する。[インプラントの内蔵磁石の部分的脱磁が起こる可能性があるため、患者は頭部を横に曲げてはならない]。		・プロトンを利用する MR 装置 ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate) :3.2W/kg 未満／2.0W/kg 未満(通常操作モード) ・頭部の向き:1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、頭部の縦軸(矢状軸)は、スキヤナの主磁場と平行になるようにすること。例えば、頭部をまっすぐにした仰臥位が該当する。[インプラントの内蔵磁石の部分的脱磁が起こる可能性があるため、患者は頭部を横に曲げてはならない]。		・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配:30T/m(3,000Gauss/cm) ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate) :3.2W/kg 未満／2.0W/kg 未満(通常操作モード) ・頭部の向き:1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、頭部の縦軸(矢状軸)は、スキヤナの主磁場と平行になるようにすること。例えば、頭部をまっすぐにした仰臥位が該当する。[インプラントの内蔵磁石の部分的脱磁が起こる可能性があるため、患者は頭部を横に曲げてはならない]。		・プロトンを利用する MR 装置 ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate) :3.2W/kg 未満／2.0W/kg 未満(通常操作モード) ・頭部の向き:1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、頭部の縦軸(矢状軸)は、スキヤナの主磁場と平行になるようにすること。例えば、頭部をまっすぐにした仰臥位が該当する。[インプラントの内蔵磁石の部分的脱磁が起こる可能性があるため、患者は頭部を横に曲げてはならない]。		
	特記事項	・5N(0.5kg の物質にかかる重力に相当)の力に耐えるため、インプラント下の骨の厚さが最低でも 0.4mm 以上あること[MRI スキャナで生じるトルクはインプラントの内蔵磁石を回転させる力を生じる。本品は磁力線に沿うように回転しようとする。インプラントの端に生じる力は、頭蓋骨と皮弁にかかる。インプラントの内蔵磁石の下の骨は、生じた力に十分耐えられるように厚さが必要である]。 ・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小化するため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、インプラント埋め込み部位に弾性包帯を強く 3 回以上巻くこと。包帯は痛みを感じない程度にしっかりと巻くこと。 ・5N(0.5kg の物質にかかる重力に相当)の力に耐えるため、インプラント下の骨の厚さが最低でも 0.4mm 以上あること[MRI スキャナで生じるトルクはインプラントの内蔵磁石を回転させる力を生じる。本品は磁力線に沿うように回転しようとする。インプラントの端に生じる力は、頭蓋骨と皮弁にかかる。インプラントの内蔵磁石の下の骨は、生じた力に十分耐えられるように厚さが必要である]。 ・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小化するため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、インプラント埋め込み部位に弾性包帯を強く 3 回以上巻くこと。包帯は痛みを感じない程度にしっかりと巻くこと。 ・5N(0.5kg の物質にかかる重力に相当)の力に耐えるため、インプラント下の骨の厚さが最低でも 0.4mm 以上あること[MRI スキャナで生じるトルクはインプラントの内蔵磁石を回転させる力を生じる。本品は磁力線に沿うように回転しようとする。インプラントの端に生じる力は、頭蓋骨と皮弁にかかる。インプラントの内蔵磁石の下の骨は、生じた力に十分耐えられるように厚さが必要である]。 ・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小化するため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・5N(0.5kg の物質にかかる重力に相当)の力に耐えるため、インプラント下の骨の厚さが最低でも 0.4mm 以上あること[MRI スキャナで生じるトルクはインプラントの内蔵磁石を回転させる力を生じる。本品は磁力線に沿うように回転しようとする。インプラントの端に生じる力は、頭蓋骨と皮弁にかかる。インプラントの内蔵磁石の下の骨は、生じた力に十分耐えられるように厚さが必要である]。 ・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小化するため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・5N(0.5kg の物質にかかる重力に相当)の力に耐えるため、インプラント下の骨の厚さが最低でも 0.4mm 以上あること[MRI スキャナで生じるトルクはインプラントの内蔵磁石を回転させる力を生じる。本品は磁力線に沿うように回転しようとする。インプラントの端に生じる力は、頭蓋骨と皮弁にかかる。インプラントの内蔵磁石の下の骨は、生じた力に十分耐えられるように厚さが必要である]。 ・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小化するため、足からスキャナに入ることを推奨する。			
安全性・有効性を示す試験結果	温度上昇 [℃] 1.5T	2℃未満(頭部SAR:3.2W/kg未満,スキャン時間15分)						2℃未満(頭部SAR:3.2W/kg未満,スキャン時間15分)					
	同上 3T												
	アーチファクト [mm] 1.5T	100mm(SE)						100mm(SE)					
	同上 3T												
	特記事項												
薬事情報	承認番号/認証番号/届出番号	21800BZG10018000						22100BZ100009000					
	添付文書上の販売名	メドエルCOMBI40＋人工内耳システム						メドエル人工内耳PULSAR					
	製造販売元	メドエルジャパン株式会社						メドエルジャパン株式会社					
	JMDNコード／一般的名称(一般名)	35643000／人工内耳						35643000／人工内耳					
	添付文書の最終改訂日	2022年7月改訂(第10版)						2022年7月改訂(第9版)					

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	人工内耳											
	商品名	PULSARコンプレスト電極 PULSARミディアム電極			SONATAコンプレスト電極 SONATAスタンダード電極 SONATAミディアム電極								
	商品コード	03094、03045			04211、04210、04213								
	機種番号	－			－								
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	アルミナセラミックス、シリコーンゴム、プラチナ、プラチナイリジウム合金			チタン、シリコーン、プラチナ、プラチナイリジウム合金								
	MR適合性標識	MR conditional			MR conditional								
	安全性(臨床)コメント	・非臨床試験によって、本品は MR Conditional であることが示されている。本品を埋植した患者に対して、以下に示される条件下においては、安全に MR 検査を実施することが可能である【自己認証による】。 ・術後 6 か月以内は MRI を実施しないこと[術後早期にMRIを実施すると、インプラントの移動または損傷を与えることがある]。 ・MRI 室に入る前、全ての体外機器(オーディオプロセッサ及び付属品)を取り外すこと。 ・機械的に故障した本品を埋め込んだ患者はMRIを実施しないこと[患者に損傷を与えることがある]。			・非臨床試験によって、本品は MR Conditional であることが示されている。本品を埋植した患者に対して、以下に示される条件下においては、安全に MR 検査を実施することが可能である【自己認証による】。 ・MRI 室に入る前、全ての体外機器(オーディオプロセッサ及び付属品)を取り外すこと。								
許容される使用条件	許容される使用条件の詳細	0.2Tの場合		1.0Tの場合		1.5Tの場合		0.2Tの場合		1.0Tの場合		1.5Tの場合	
	静磁場強度 [T]	0.2T		1.0T		1.5T		0.2T		1.0T		1.5T	
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T					30T/m						30T/m	
	同上 3T												
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T					<2.0W/kg						<2.0W/kg	
	同上 3T												
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μT] 1.5T												
	同上 3T												
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]												
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T												
	同上 3T												
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T												
	同上 3T												
	その他の使用条件	・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配: 30T/m (3,000Gauss/cm) ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate) : 3.2W/kg 未満／2.0W/kg 未満 (通常操作モード) ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate) : 3.2W/kg 未満／2.0W/kg 未満 (通常操作モード) ・頭部の向き: 0.2T では頭部の向きに関する制限はない。		・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配: 30T/m (3,000Gauss/cm) ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate) : 3.2W/kg 未満／2.0W/kg 未満 (通常操作モード) ・頭部の向き: 1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、頭部の縦軸(矢状軸)は、スキャナの主磁場と平行になるようにすること。例えば、頭部をまっすぐにした仰臥位が該当する。[インプラントの内蔵磁石の部分的脱磁が起こる可能性があるため、患者は頭部を横に曲げてはならない]。		・プロトンを利用する MR 装置 ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate) : 3.2W/kg 未満／2.0W/kg 未満 (通常操作モード) ・頭部の向き: 1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、頭部の縦軸(矢状軸)は、スキャナの主磁場と平行になるようにすること。例えば、頭部をまっすぐにした仰臥位が該当する。[インプラントの内蔵磁石の部分的脱磁が起こる可能性があるため、患者は頭部を横に曲げてはならない]。		・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配: 30T/m (3,000Gauss/cm) ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate) : 3.2W/kg 未満／2.0W/kg 未満 (通常操作モード) ・頭部の向き: 0.2T では頭部の向きに関する制限はない。		・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配: 30T/m (3,000Gauss/cm) ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate) : 3.2W/kg 未満／2.0W/kg 未満 (通常操作モード) ・頭部の向き: 1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、頭部の縦軸(矢状軸)は、スキャナの主磁場と平行になるようにすること。例えば、頭部をまっすぐにした仰臥位が該当する。[インプラントの内蔵磁石の部分的脱磁が起こる可能性があるため、患者は頭部を横に曲げてはならない]。			
	特記事項	・5N(0.5kg の物質にかかる重力に相当)の力に耐えるため、インプラント下の骨の厚さが最低でも 0.4mm 以上あること[MRI スキャナで生じるトルクはインプラントの内蔵磁石を回転させる力を生じる。本品は磁力線に沿うように回転しようとする。インプラントの端に生じる力は、頭蓋骨と皮弁にかかる。インプラントの内蔵磁石の下骨は、生じた力に十分耐えられるように厚さが必要である]。 ・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小化するため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、インプラント埋め込み部位に弾性包帯を強く 3 回以上巻くこと。包帯は痛みを感じない程度にしっかりと巻くこと。 ・5N(0.5kg の物質にかかる重力に相当)の力に耐えるため、インプラント下の骨の厚さが最低でも 0.4mm 以上あること[MRI スキャナで生じるトルクはインプラントの内蔵磁石を回転させる力を生じる。本品は磁力線に沿うように回転しようとする。インプラントの端に生じる力は、頭蓋骨と皮弁にかかる。インプラントの内蔵磁石の下骨は、生じた力に十分耐えられるように厚さが必要である]。 ・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小化するため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、インプラント埋め込み部位に弾性包帯を強く 3 回以上巻くこと。包帯は痛みを感じない程度にしっかりと巻くこと。 ・5N(0.5kg の物質にかかる重力に相当)の力に耐えるため、インプラント下の骨の厚さが最低でも 0.4mm 以上あること[MRI スキャナで生じるトルクはインプラントの内蔵磁石を回転させる力を生じる。本品は磁力線に沿うように回転しようとする。インプラントの端に生じる力は、頭蓋骨と皮弁にかかる。インプラントの内蔵磁石の下骨は、生じた力に十分耐えられるように厚さが必要である]。 ・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小化するため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小化するため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、インプラント埋め込み部位に弾性包帯を強く 3 回以上巻くこと。包帯は痛みを感じない程度にしっかりと巻くこと。 ・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小化するため、足からスキャナに入ることを推奨する。			
安全性・有効性を示す試験結果	温度上昇 [°C] 1.5T	2℃未満(頭部SAR:3.2W/kg未満,スキャン時間15分)						2℃未満(頭部SAR:3.2W/kg未満,スキャン時間15分)					
	同上 3T												
	アーチファクト [mm] 1.5T	100mm(SE)						100mm(SE)					
	同上 3T												
	特記事項												
薬事情報	承認番号/認証番号/届出番号	22200BZ100007000						22400BZ100004000					
	添付文書上の販売名	メドエル人工内耳PULSAR－MS						メドエル人工内耳SONATATi100					
	製造販売元	メドエルジャパン株式会社						メドエルジャパン株式会社					
	JMDNコード／一般的名称(一般名)	35643000／人工内耳						35643000／人工内耳					
	添付文書の最終改訂日	2022年7月改訂(第7版)						2022年7月改訂(第5版)					

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	人工内耳											
	商品名	CONCERTO (コンプレスト) CONCERTO (スタンダード) CONCERTO (FLEX24) CONCERTO (FLEX28) CONCERTO (FLEX SOFT) CONCERTO (ミディアム)				メドエル人工内耳E (インプラントPULSAR FLEX24)							
	商品コード	07671、07677、07670、07676、07673、07679、08841、08842、07674、07680、07672、07678				—							
	機種番号	—				—							
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	チタン、シリコーン、プラチナ、イリジウム				アルミナセラミックス、シリコーンゴム、プラチナ、プラチナイリジウム合金							
	MR適合性標識	MR conditional				MR conditional							
	安全性 (臨床) コメント	・非臨床試験によって、本品は MR Conditional であることが示されている。本品を埋植した患者に対して、以下に示される条件下においては、安全に MR 検査を実施することが可能である【自己認証による】。 ・MRI 室に入る前、全ての体外機器 (オーディオプロセッサ及び付属品) を取り外すこと。				・非臨床試験によって、本品は MR Conditional であることが示されている。本品を埋植した患者に対して、以下に示される条件下においては、安全に MR 検査を実施することが可能である【自己認証による】。 ・術後 6 か月以内は MRI を実施しないこと[術後早期にMRI を実施すると、インプラントの移動または損傷を与えることがある]。 ・MRI 室に入る前、全ての体外機器 (オーディオプロセッサ及び付属品) を取り外すこと。 ・機械的に故障した本品を埋め込んだ患者はMRIを実施しないこと[患者に損傷を与えることがある]。							
許容される使用条件	許容される使用条件の詳細	0.2Tの場合		1.0Tの場合		1.5Tの場合		0.2Tの場合		1.0Tの場合		1.5Tの場合	
	静磁場強度 [T]	0.2T		1.0T		1.5T		0.2T		1.0T		1.5T	
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T					30T/m						30T/m	
	同上 3T												
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T					<2.0W/kg						<2.0W/kg	
	同上 3T												
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μT] 1.5T												
	同上 3T												
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]												
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T												
	同上 3T												
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T												
	同上 3T												
	その他の使用条件	・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配: 30T/m (3,000Gauss/cm) ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate) : 3.2W/kg 未満／2.0W/kg 未満 (通常操作モード) ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate) : 3.2W/kg 未満／2.0W/kg 未満 (通常操作モード) ・頭部の向き: 0.2T では頭部の向きに関する制限はない。		・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配: 30T/m (3,000Gauss/cm) ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate) : 3.2W/kg 未満／2.0W/kg 未満 (通常操作モード) ・頭部の向き: 1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、頭部の縦軸 (矢状軸) は、スキャナの主磁場と平行になるようにすること。例えば、頭部をまっすぐにした仰臥位が該当する。[インプラントの内蔵磁石の部分的脱磁が起こる可能性があるため、患者は頭部を横に曲げてはならない]。		・プロトンを利用する MR 装置 ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate) : 3.2W/kg 未満／2.0W/kg 未満 (通常操作モード) ・頭部の向き: 1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、頭部の縦軸 (矢状軸) は、スキャナの主磁場と平行になるようにすること。例えば、頭部をまっすぐにした仰臥位が該当する。[インプラントの内蔵磁石の部分的脱磁が起こる可能性があるため、患者は頭部を横に曲げてはならない]。		・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配: 30T/m (3,000Gauss/cm) ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate) : 3.2W/kg 未満／2.0W/kg 未満 (通常操作モード) ・頭部の向き: 0.2T では頭部の向きに関する制限はない。		・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配: 30T/m (3,000Gauss/cm) ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate) : 3.2W/kg 未満／2.0W/kg 未満 (通常操作モード) ・頭部の向き: 1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、頭部の縦軸 (矢状軸) は、スキャナの主磁場と平行になるようにすること。例えば、頭部をまっすぐにした仰臥位が該当する。[インプラントの内蔵磁石の部分的脱磁が起こる可能性があるため、患者は頭部を横に曲げてはならない]。		・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配: 30T/m (3,000Gauss/cm) ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate) : 3.2W/kg 未満／2.0W/kg 未満 (通常操作モード) ・頭部の向き: 1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、頭部の縦軸 (矢状軸) は、スキャナの主磁場と平行になるようにすること。例えば、頭部をまっすぐにした仰臥位が該当する。[インプラントの内蔵磁石の部分的脱磁が起こる可能性があるため、患者は頭部を横に曲げてはならない]。	
	特記事項	・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・上記の指示は、頭部以外 (例えば膝等) を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小化するため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、インプラント埋め込み部位に弾性包帯を強く 3 回以上巻くこと。包帯は痛みを感じない程度にしっかりと巻くこと。 ・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・上記の指示は、頭部以外 (例えば膝等) を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小化するため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、インプラント埋め込み部位に弾性包帯を強く 3 回以上巻くこと。包帯は痛みを感じない程度にしっかりと巻くこと。 ・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・上記の指示は、頭部以外 (例えば膝等) を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小化するため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・5N (0.5kg の物質にかかる重力に相当) の力に耐えるため、インプラント下の骨の厚さが最低でも 0.4mm 以上あること[MRI スキャナで生じるトルクはインプラントの内蔵磁石を回転させる力を生じる。本品は磁力線に沿うように回転しようとする。インプラントの端に生じる力は、頭蓋骨と皮弁にかかる。インプラントの内蔵磁石の下 の骨は、生じた力に十分耐えられるように厚さが必要である]。 ・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・上記の指示は、頭部以外 (例えば膝等) を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小化するため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、インプラント埋め込み部位に弾性包帯を強く 3 回以上巻くこと。包帯は痛みを感じない程度にしっかりと巻くこと。 ・5N (0.5kg の物質にかかる重力に相当) の力に耐えるため、インプラント下の骨の厚さが最低でも 0.4mm 以上あること[MRI スキャナで生じるトルクはインプラントの内蔵磁石を回転させる力を生じる。本品は磁力線に沿うように回転しようとする。インプラントの端に生じる力は、頭蓋骨と皮弁にかかる。インプラントの内蔵磁石の下 の骨は、生じた力に十分耐えられるように厚さが必要である]。 ・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・上記の指示は、頭部以外 (例えば膝等) を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小化するため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、インプラント埋め込み部位に弾性包帯を強く 3 回以上巻くこと。包帯は痛みを感じない程度にしっかりと巻くこと。 ・5N (0.5kg の物質にかかる重力に相当) の力に耐えるため、インプラント下の骨の厚さが最低でも 0.4mm 以上あること[MRI スキャナで生じるトルクはインプラントの内蔵磁石を回転させる力を生じる。本品は磁力線に沿うように回転しようとする。インプラントの端に生じる力は、頭蓋骨と皮弁にかかる。インプラントの内蔵磁石の下 の骨は、生じた力に十分耐えられるように厚さが必要である]。 ・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・上記の指示は、頭部以外 (例えば膝等) を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小化するため、足からスキャナに入ることを推奨する。	
安全性・有効性を示す試験結果	温度上昇 [°C] 1.5T	2℃未満 (頭部 SAR: 3.2W/kg 未満, スキャン時間 15 分)				2℃未満 (頭部 SAR: 3.2W/kg 未満, スキャン時間 15 分)							
	同上 3T												
	アーチファクト [mm] 1.5T	100mm (SE)				100mm (SE)							
	同上 3T												
	特記事項					上記条件で 15 分のスキャン時間において本品に生じ得る最大の温度上昇は 2℃未満である。 本品が 1.5T の MR 装置におけるスピエンコー法による撮像で生じうるアーチファクトは本品の実像から約 10cm である。							
薬事情報	承認番号/認証番号/届出番号	22400BZ100016000				22500BZ100020000							
	添付文書上の販売名	メドエル人工内耳 CONCERTO				メドエル人工内耳 E (インプラント PULSAR FLEX24) 構成品インプラント PULSAR FLEX24							
	製造販売元	メドエルジャパン株式会社				メドエルジャパン株式会社							
	JMDNコード／一般的名称 (一般名)	35643000／人工内耳				35643000／人工内耳							
	添付文書の最終改訂日	2022年7月改訂 (第6版)				2023年10月改訂 (第3版)							

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	人工内耳			
	商品名	CONCERTO (FLEX24) E			
	商品コード	60026、60027			
	機種番号	—			
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	チタン、シリコン、プラチナ、イリジウム			
	MR適合性標識	MR conditional			
	安全性(臨床)コメント	・非臨床試験によって、本品は MR Conditional であることが示されている。本品を埋植した患者に対して、以下に示される条件下においては、安全に MR 検査を実施することが可能である【自己認証による】。 ・MRI 室に入る前、全ての体外機器(オーディオプロセッサ及び付属品)を取り外すこと。			
許容される使用条件	許容される使用条件の詳細	0.2Tの場合	1.0Tの場合	1.5Tの場合	
	静磁場強度 [T]	0.2T	1.0T	1.5T	
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T			30T/m	
	同上 3T				
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T			<2.0W/kg	
	同上 3T				
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μT] 1.5T				
	同上 3T				
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]				
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T				
	同上 3T				
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T				
	同上 3T				
	その他の使用条件	・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配: 30T/m (3,000Gauss/cm) ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate): 3.2W/kg 未満／2.0W/kg 未満 (通常操作モード) ・頭部の向き: 0.2T では頭部の向きに関する制限はない。	・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配: 30T/m (3,000Gauss/cm) ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate): 3.2W/kg 未満／2.0W/kg 未満 (通常操作モード) ・頭部の向き: 1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、頭部の縦軸(矢状軸)は、スキャナの主磁場と平行になるようにすること。例えば、頭部をまっすぐにした仰臥位が該当する。[インプラントの内蔵磁石の部分的脱磁が起こる可能性があるため、患者は頭部を横に曲げてはならない]。	・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配: 30T/m (3,000Gauss/cm) ・MR 装置が示す平均頭部／全身 SAR (Specific Absorption Rate): 3.2W/kg 未満／2.0W/kg 未満 (通常操作モード) ・頭部の向き: 1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、頭部の縦軸(矢状軸)は、スキャナの主磁場と平行になるようにすること。例えば、頭部をまっすぐにした仰臥位が該当する。[インプラントの内蔵磁石の部分的脱磁が起こる可能性があるため、患者は頭部を横に曲げてはならない]。	
	特記事項	・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小化するため、足からスキャナに入ることを推奨する。	・1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、インプラント埋め込み部位に弾性包帯を強く 3 回以上巻くこと。包帯は痛みを感じない程度にしっかり巻くこと。 ・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小化するため、足からスキャナに入ることを推奨する。	・1.0T 及び 1.5T で MRI 撮影を行う場合、インプラント埋め込み部位に弾性包帯を強く 3 回以上巻くこと。包帯は痛みを感じない程度にしっかり巻くこと。 ・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小化するため、足からスキャナに入ることを推奨する。	
安全性・有効性を示す試験結果	温度上昇 [°C] 1.5T	2℃未満(頭部SAR:3.2W/kg未満,スキャン時間15分)			
	同上 3T				
	アーチファクト [mm] 1.5T	100mm (SE)			
	同上 3T				
	特記事項	上記条件で 15 分のスキャン時間において本品に生じ得る最大の温度上昇は 2℃未満である。 本品が1.5TのMR装置におけるスピネコー法による撮像で生じうるアーチファクトは本品の実像から約 10cmである。			
薬事情報	承認番号/認証番号/届出番号	22500BZI00020000			
	添付文書上の販売名	メドエル人工内耳E 構成品インプラントCONCERTO FLEX24			
	製造販売元	メドエルジャパン株式会社			
	JMDNコード／一般的名称(一般名)	35643000／人工内耳			
	添付文書の最終改訂日	2023年10月改訂(第7版)			

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	人工内耳										
	商品名	SYNCHRONY (コンプレスト) SYNCHRONY (スタンダード) SYNCHRONY (FORM19) SYNCHRONY (FORM24) SYNCHRONY (FLEX20) SYNCHRONY (FLEX26) SYNCHRONY (FLEX28) SYNCHRONY (FLEX SOFT) SYNCHRONY (ミディアム)										
	商品コード	31086、31097、31084、31085、31098、31099、31100、31101、31113、31114、36630、31093、31094、31091、31092、31087、31088										
	機種番号	—										
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	チタン合金、シリコン、プラチナ、プラチナイリジウム合金、バリレンC										
	MR適合性標識	MR conditional										
	安全性(臨床)コメント	・非臨床試験によって、本品は MR Conditional であることが示されている。本品を埋植した患者に対して、以下に示される条件下においては、安全に MR 検査を実施することが可能である【自己認証による】。 ・MRI 室に入る前、全ての体外機器(オーディオプロセッサ及び付属品)を取り外すこと。										
許容される使用条件	許容される使用条件の詳細	0.2Tの場合		1.0Tの場合		1.5Tの場合		3.0Tの場合、かつ、ランドマークの位置が頭頂部から35cm 未満の場合		3.0Tの場合、かつ、ランドマークの位置が頭頂部から 35cm以上の場合		
	静磁場強度 [T]	0.2T		1.0T		1.5T		3.0T		3.0T		
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T					30T/m						
	同上 3T									30T/m		
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T					2.0W/kg						
	同上 3T							1.0W/kg		2.0W/kg		
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μT] 1.5T											
	同上 3T											
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]											
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T											
	同上 3T											
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T											
	同上 3T											
	その他の使用条件	・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配：30T/m(3,000Gauss/cm) ・MR 装置が示す平均頭部SAR(Specific Absorption Rate)／全身 SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm 未満の場合)／全身 SAR(ランドマークの位置が頭頂部から 35cm以上の場合)：3.2W/kg／2.0W/kg／2.0W/kg(通常操作モード) ・0.2T/1.0T/1.5T の場合、通常操作モードの MRI シーケンスのみを用いること。		・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配：30T/m(3,000Gauss/cm) ・MR 装置が示す平均頭部SAR(Specific Absorption Rate)／全身 SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm 未満の場合)／全身 SAR(ランドマークの位置が頭頂部から 35cm以上の場合)：3.2W/kg／2.0W/kg／2.0W/kg(通常操作モード) ・1.0T/1.5T/3.0T の場合、頭部の縦軸(矢状軸)がスキャナの主磁場と平行になるようにし、頭部を横(耳を肩側に)に±30 度以上傾けないこと。 ・0.2T/1.0T/1.5T の場合、通常操作モードの MRI シーケンスのみを用いること。		・プロトンを利用する MR 装置 ・MR 装置が示す平均頭部SAR(Specific Absorption Rate)／全身 SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm 未満の場合)／全身 SAR(ランドマークの位置が頭頂部から 35cm以上の場合)：3.2W/kg／2.0W/kg／2.0W/kg(通常操作モード) ・1.0T/1.5T/3.0T の場合、頭部の縦軸(矢状軸)がスキャナの主磁場と平行になるようにし、頭部を横(耳を肩側に)に±30 度以上傾けないこと。 ・0.2T/1.0T/1.5T の場合、通常操作モードの MRI シーケンスのみを用いること。		・プロトンを利用する MR 装置 ・MR 装置が示す平均頭部SAR(Specific Absorption Rate)／全身 SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm 未満の場合)：1.6W/kg／1.0W/kg ・1.0T/1.5T/3.0T の場合、頭部の縦軸(矢状軸)がスキャナの主磁場と平行になるようにし、頭部を横(耳を肩側に)に±30 度以上傾けないこと。 ・3.0T において、オプションの頭部用 RF 送信コイルまたはマルチチャンネル送信コイルを使用しないこと[電極コンタクトが発熱することがある]。		・プロトンを利用する MR 装置 ・MR 装置が示す平均頭部SAR(Specific Absorption Rate)／全身 SAR(ランドマークの位置が頭頂部から 35cm以上の場合)：1.6W/kg／2.0W/kg ・1.0T/1.5T/3.0T の場合、頭部の縦軸(矢状軸)がスキャナの主磁場と平行になるようにし、頭部を横(耳を肩側に)に±30 度以上傾けないこと。 ・3.0T において、オプションの頭部用 RF 送信コイルまたはマルチチャンネル送信コイルを使用しないこと[電極コンタクトが発熱することがある]。		
	特記事項	・スキャン中、患者はクリック音やビーブ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・弾性包帯を巻く必要はない。 ・反対側に人工聴覚器を装着している場合は、撮像条件の厳しい方に合わせることに。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小にするため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・スキャン中、患者はクリック音やビーブ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・弾性包帯を巻く必要はない。 ・反対側に人工聴覚器を装着している場合は、撮像条件の厳しい方に合わせることに。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小にするため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・スキャン中、患者はクリック音やビーブ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・弾性包帯を巻く必要はない。 ・反対側に人工聴覚器を装着している場合は、撮像条件の厳しい方に合わせることに。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小にするため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・スキャン中、患者はクリック音やビーブ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・弾性包帯を巻く必要はない。 ・反対側に人工聴覚器を装着している場合は、撮像条件の厳しい方に合わせることに。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小にするため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・スキャン中、患者はクリック音やビーブ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・弾性包帯を巻く必要はない。 ・反対側に人工聴覚器を装着している場合は、撮像条件の厳しい方に合わせることに。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小にするため、足からスキャナに入ることを推奨する。		
	安全性・有効性を示す試験結果	温度上昇 [℃] 1.5T	3℃以下(頭部SAR:3.2W/kg,スキャン時間15分)									
		同上 3T	3℃以下(頭部SAR:1.6W/kg,スキャン時間15分)									
		アーチファクト [mm] 1.5T										
		同上 3T	100mm(SE)									
		特記事項	・上記条件で 15 分のスキャン時間において本品に生じ得る最大の温度上昇は 3℃以下である。 ・本品が 3.0T の MR 装置におけるスピネエコー法による撮像で生じるアーチファクトは本品の実像から 10 cmである。画像アーチファクト減少が望まれる場合、手術によりインプラント磁石を取り外すことが可能である。									
	薬事情報	承認番号/認証番号/届出番号	22900BZi00023000									
		添付文書上の販売名	モデル人工内耳SYNCHRONY									
		製造販売元	モデルジャパン株式会社									
		JMDNコード／一般的名称(一般名)	35643000／人工内耳									
		添付文書の最終改訂日	2024年1月改訂(第6版)									

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	人工内耳									
	商品名	SYNCHRONY (FLEX24)									
	商品コード	31089、31090									
	機種番号	—									
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	チタン合金、シリコン、プラチナ、プラチナイリジウム合金、バリレンC									
	MR適合性標識	MR conditional									
	安全性(臨床)コメント	・非臨床試験によって、本品は MR Conditional であることが示されている。本品を埋植した患者に対して、以下に示される条件下においては、安全に MR 検査を実施することが可能である【自己認証による】。 ・MRI 室に入る前、全ての体外機器（オーディオプロセッサ及び付属品）を取り外すこと。									
許容される使用条件	許容される使用条件の詳細	0.2Tの場合		1.0Tの場合		1.5Tの場合		3.0Tの場合、かつ、ランドマークの位置が頭頂部から35cm 未満の場合		3.0Tの場合、かつ、ランドマークの位置が頭頂部から 35cm以上の場合	
	静磁場強度 [T]	0.2T		1.0T		1.5T		3.0T		3.0T	
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T					30T/m					
	同上 3T							30T/m		30T/m	
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T					2.0W/kg					
	同上 3T							1.0W/kg		2.0W/kg	
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μT] 1.5T										
	同上 3T										
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]										
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T										
	同上 3T										
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T										
	同上 3T										
	その他の使用条件	・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配: 30T/m(3,000Gauss/cm) ・MR 装置が示す平均頭部SAR(Specific Absorption Rate)／全身 SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm 未満の場合)／全身 SAR(ランドマークの位置が頭頂部から 35cm以上の場合): 3.2W/kg／2.0W/kg／2.0W/kg(通常操作モード) ・0.2T/1.0T/1.5T の場合、通常操作モードの MRI シーケンスのみを用いること。		・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配: 30T/m(3,000Gauss/cm) ・MR 装置が示す平均頭部SAR(Specific Absorption Rate)／全身 SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm 未満の場合)／全身 SAR(ランドマークの位置が頭頂部から 35cm以上の場合): 3.2W/kg／2.0W/kg／2.0W/kg(通常操作モード) ・MRI1.0T/1.5T/3.0T の場合、頭部の縦軸(矢状軸)がスキャナの主磁場と平行になるようにし、頭部を横(耳を肩側に)に±30 度以上傾けないこと。 ・0.2T/1.0T/1.5T の場合、通常操作モードの MRI シーケンスのみを用いること。		・プロトンを利用する MR 装置 ・MR 装置が示す平均頭部SAR(Specific Absorption Rate)／全身 SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm 未満の場合): 1.6W/kg／1.0W/kg ・MRI1.0T/1.5T/3.0T の場合、頭部の縦軸(矢状軸)がスキャナの主磁場と平行になるようにし、頭部を横(耳を肩側に)に±30 度以上傾けないこと。 ・3.0T において、オプションの頭部用 RF 送信コイルまたはマルチチャンネル送信コイルは使用しないこと。		・プロトンを利用する MR 装置 ・MR 装置が示す平均頭部SAR(Specific Absorption Rate)／全身 SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm 未満の場合): 1.6W/kg／2.0W/kg ・MRI1.0T/1.5T/3.0T の場合、頭部の縦軸(矢状軸)がスキャナの主磁場と平行になるようにし、頭部を横(耳を肩側に)に±30 度以上傾けないこと。 ・3.0T において、オプションの頭部用 RF 送信コイルまたはマルチチャンネル送信コイルは使用しないこと。			
	特記事項	・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・弾性包帯を巻く必要はない。 ・反対側に人工聴覚器を装着している場合は、撮像条件の厳しい方に合わせる こと。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小にするため、足からスキャナに入 ことを推奨する。		・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・弾性包帯を巻く必要はない。 ・反対側に人工聴覚器を装着している場合は、撮像条件の厳しい方に合わせる こと。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小にするため、足からスキャナに入 ことを推奨する。		・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・弾性包帯を巻く必要はない。 ・反対側に人工聴覚器を装着している場合は、撮像条件の厳しい方に合わせる こと。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小にするため、足からスキャナに入 ことを推奨する。		・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・弾性包帯を巻く必要はない。 ・反対側に人工聴覚器を装着している場合は、撮像条件の厳しい方に合わせる こと。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小にするため、足からスキャナに入 ことを推奨する。			
安全性・有効性を示す試験結果	温度上昇 [°C] 1.5T	3℃以下(頭部SAR:3.2W/kg,スキャン時間15分)									
	同上 3T	3℃以下(頭部SAR:1.6W/kg,スキャン時間15分)									
	アーチファクト [mm] 1.5T										
	同上 3T	100mm(SE)									
	特記事項	・上記条件で15分のスキャン時間において本品に生じ得る最大の温度上昇は 3℃以下である。 ・本品が 3.0T の MR 装置におけるスピネエコー法による撮像で生じうるアーチファクトは本品の実像から 10cm である。画像アーチファクト減少が望まれる場合、手術によりインプラント磁石を取り外すことが可能である。									
薬事情報	承認番号/認証番号/届出番号	22900BZ100022000									
	添付文書上の販売名	メドエル人工内耳SYNCHRONY FLEX24									
	製造販売元	メドエルジャパン株式会社									
	JMDNコード／一般的名称(一般名)	35643000／人工内耳									
	添付文書の最終改訂日	2024年1月改訂(第6版)									

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	人工内耳									
	商品名	SYNCHRONY2(スタンダード) SYNCHRONY2(ミディアム) SYNCHRONY2(コンプレスト) SYNCHRONY2(FORM19) SYNCHRONY2(FORM24)									
	商品コード	39562、39563、39564、39565、39566、39567、39578、39579、39580、39581									
	機種番号	—									
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	チタン合金、シリコン、プラチナ、プラチナイリジウム合金、パリレンC									
	MR適合性標識	MR conditional									
	安全性(臨床)コメント	・すべての体外機器(オーディオプロセッサ等)を取り外す。 ・本品は植え込まれたまま、0.2、1.0、1.5、3.0 T のみの静磁場強度で撮影可能である。 ・非臨床試験によって本品は MR Conditional であることが示されている。本品を植え込んだ患者に対して、以下に示される条件下においては、安全に MR 検査を実施することが可能である【自己認証による】。 ・MRI 室に入る前、全ての体外機器(オーディオプロセッサ及び付属品)を取り外すこと。									
許容される使用条件	許容される使用条件の詳細	0.2Tの場合		1.0Tの場合		1.5Tの場合		3.0Tの場合、かつ、ランドマークの位置が頭頂部から35cm 未満の場合		3.0Tの場合、かつ、ランドマークの位置が頭頂部から 35cm以上の場合	
	静磁場強度 [T]	0.2T		1.0T		1.5T		3.0T		3.0T	
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T					30T/m					
	同上 3T							30T/m		30T/m	
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T					2.0W/kg					
	同上 3T							1.0W/kg		2.0W/kg	
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μ T] 1.5T										
	同上 3T										
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]										
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T										
	同上 3T										
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T										
	同上 3T										
	その他の使用条件	・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配:最大 30 T/m(3000 G/cm) ・MR装置が示す平均頭部SAR(Specific Absorption Rate)／全身SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm未満の場合)／全身SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm以上の場合): 3.2W/kg／2.0W/kg／2.0W/kg(通常操作モード) ・0.2T/1.0T/1.5T の場合、通常操作モードの MRI シーケンスのみを用いること。		・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配:最大 30 T/m(3000 G/cm) ・MR装置が示す平均頭部SAR(Specific Absorption Rate)／全身SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm未満の場合)／全身SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm以上の場合): 3.2W/kg／2.0W/kg／2.0W/kg(通常操作モード) ・1.0T/1.5T/3.0T の場合、頭部の縦軸(矢状軸)がスキャナの主磁場と平行になるようにし、頭部を横(耳を肩側に)に±30 度以上傾けないこと。 ・0.2T/1.0T/1.5T の場合、通常操作モードの MRI シーケンスのみを用いること。		・プロトンを利用する MR 装置 ・MR装置が示す平均頭部SAR(Specific Absorption Rate)／全身SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm未満の場合)／全身SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm以上の場合): 3.2W/kg／2.0W/kg／2.0W/kg(通常操作モード) ・1.0T/1.5T/3.0T の場合、頭部の縦軸(矢状軸)がスキャナの主磁場と平行になるようにし、頭部を横(耳を肩側に)に±30 度以上傾けないこと。 ・0.2T/1.0T/1.5T の場合、通常操作モードの MRI シーケンスのみを用いること。		・プロトンを利用する MR 装置 ・MR装置が示す平均頭部SAR(Specific Absorption Rate)／全身SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm未満の場合): 1.6W/kg／1.0W/kg ・1.0T/1.5T/3.0T の場合、頭部の縦軸(矢状軸)がスキャナの主磁場と平行になるようにし、頭部を横(耳を肩側に)に±30 度以上傾けないこと。 ・3.0T において、オプションの頭部用 RF 送信コイルまたはマルチチャンネル送信コイルは使用しないこと。		・プロトンを利用する MR 装置 ・MR装置が示す平均頭部SAR(Specific Absorption Rate)／全身SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm以上の場合): 1.6W/kg／2.0W/kg ・1.0T/1.5T/3.0T の場合、頭部の縦軸(矢状軸)がスキャナの主磁場と平行になるようにし、頭部を横(耳を肩側に)に±30 度以上傾けないこと。 ・3.0T において、オプションの頭部用 RF 送信コイルまたはマルチチャンネル送信コイルは使用しないこと。	
	特記事項	・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・弾性包帯を巻く必要はない。 ・反対側に人工聴覚器を装着している場合は、撮像条件の厳しい方に合わせること。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小にするため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・弾性包帯を巻く必要はない。 ・反対側に人工聴覚器を装着している場合は、撮像条件の厳しい方に合わせること。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小にするため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・弾性包帯を巻く必要はない。 ・反対側に人工聴覚器を装着している場合は、撮像条件の厳しい方に合わせること。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小にするため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・弾性包帯を巻く必要はない。 ・反対側に人工聴覚器を装着している場合は、撮像条件の厳しい方に合わせること。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小にするため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・弾性包帯を巻く必要はない。 ・反対側に人工聴覚器を装着している場合は、撮像条件の厳しい方に合わせること。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小にするため、足からスキャナに入ることを推奨する。	
安全性・有効性を示す試験結果	温度上昇 [°C] 1.5T	3℃以下(頭部SAR:3.2W/kg,スキャン時間15分)									
	同上 3T	3℃以下(頭部SAR:1.6W/kg,スキャン時間15分)									
	アーチファクト [mm] 1.5T										
	同上 3T	100mm(SE)									
	特記事項	・上記条件で 15 分のスキャン時間において本品に生じ得る最大の温度上昇は 3℃以下である。 ・本品が 3.0 T の MR 装置におけるスピンエコー法による撮像で生じうるアーチファクトは本品の実像から 10cm である。画像アーチファクト減少が望まれる場合、手術によりインプラント磁石を取り外すことが可能である。									
薬事情報	承認番号/認証番号/届出番号	30400BZ100025000									
	添付文書上の販売名	モデル人工内耳SYNCHRONY2									
	製造販売元	メドエルジャパン株式会社									
	JMDNコード／一般的名称(一般名)	35643000／人工内耳									
	添付文書の最終改訂日	2026年7月改訂(第4版)									

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	人工内耳									
	商品名	SYNCHRONY2(FLEX SOFT) SYNCHRONY2(FLEX20) SYNCHRONY2(FLEX24) SYNCHRONY2(FLEX26) SYNCHRONY2(FLEX28)									
	商品コード	39568、39569、39576、39577、39570、39571、39574、39575、39572、39573									
	機種番号	—									
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	チタン合金、シリコン、プラチナ、プラチナイリジウム合金、パリレンC									
	MR適合性標識	MR conditional									
	安全性(臨床)コメント	・すべての体外機器(オーディオプロセッサ等)を取り外す。 ・本品は植え込まれたまま、0.2、1.0、1.5、3.0 T のみの静磁場強度で撮影可能である。 ・非臨床試験によって本品は MR Conditional であることが示されている。本品を植え込んだ患者に対して、以下に示される条件下においては、安全に MR 検査を実施することが可能である。 ・MRI 室に入る前、全ての体外機器(オーディオプロセッサ及び付属品)を取り外すこと。									
許容される使用条件	許容される使用条件の詳細	0.2Tの場合		1.0Tの場合		1.5Tの場合		3.0Tの場合、かつ、ランドマークの位置が頭頂部から35cm 未満の場合		3.0Tの場合、かつ、ランドマークの位置が頭頂部から 35cm以上の場合	
	静磁場強度 [T]	0.2T		1.0T		1.5T		3.0T		3.0T	
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T					30T/m					
	同上 3T							30T/m		30T/m	
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T					2.0W/kg					
	同上 3T							1.0W/kg		2.0W/kg	
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μT] 1.5T										
	同上 3T										
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]										
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T										
	同上 3T										
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T										
	同上 3T										
	その他の使用条件	・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配:最大 30 T/m(3000 G/cm) ・MR装置が示す平均頭部SAR(Specific Absorption Rate)／全身SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm未満の場合)／全身SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm以上の場合) : 3.2W/kg／2.0W/kg／2.0W/kg(通常操作モード) ・0.2T/1.0T/1.5T の場合、通常操作モードの MRI シーケンスのみを用いること。		・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度の勾配:最大30 T/m(3000 G/cm) ・MR装置が示す平均頭部SAR(Specific Absorption Rate)／全身SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm未満の場合)／全身SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm以上の場合) : 3.2W/kg／2.0W/kg／2.0W/kg(通常操作モード) ・1.0T/1.5T/3.0T の場合、頭部の縦軸(矢状軸)がスキャナの主磁場と平行になるようにし、頭部を横(耳を肩側に)に±30 度以上傾けないこと。 ・0.2T/1.0T/1.5T の場合、通常操作モードの MRI シーケンスのみを用いること。		・プロトンを利用する MR 装置 ・MR装置が示す平均頭部SAR(Specific Absorption Rate)／全身SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm未満の場合)／全身SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm以上の場合) : 3.2W/kg／2.0W/kg／2.0W/kg(通常操作モード) ・1.0T/1.5T/3.0T の場合、頭部の縦軸(矢状軸)がスキャナの主磁場と平行になるようにし、頭部を横(耳を肩側に)に±30 度以上傾けないこと。 ・0.2T/1.0T/1.5T の場合、通常操作モードの MRI シーケンスのみを用いること。		・プロトンを利用する MR 装置 ・MR装置が示す平均頭部SAR(Specific Absorption Rate)／全身SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm未満の場合) : 1.6W/kg／1.0W/kg ・1.0T/1.5T/3.0T の場合、頭部の縦軸(矢状軸)がスキャナの主磁場と平行になるようにし、頭部を横(耳を肩側に)に±30 度以上傾けないこと。 ・3.0T において、オプションの頭部用 RF 送信コイルまたはマルチチャンネル送信コイルを使用しないこと[電極コンタクトが発熱することがある]。		・プロトンを利用する MR 装置 ・MR装置が示す平均頭部SAR(Specific Absorption Rate)／全身SAR(ランドマークの位置が頭頂部から35cm以上の場合) : 1.6W/kg／2.0W/kg ・1.0T/1.5T/3.0T の場合、頭部の縦軸(矢状軸)がスキャナの主磁場と平行になるようにし、頭部を横(耳を肩側に)に±30 度以上傾けないこと。 ・3.0T において、オプションの頭部用 RF 送信コイルまたはマルチチャンネル送信コイルを使用しないこと[電極コンタクトが発熱することがある]。	
	特記事項	・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・弾性包帯を巻く必要はない。 ・反対側に人工聴覚器を装着している場合は、撮像条件の厳しい方に合わせること。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小にするため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・弾性包帯を巻く必要はない。 ・反対側に人工聴覚器を装着している場合は、撮像条件の厳しい方に合わせること。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小にするため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・弾性包帯を巻く必要はない。 ・反対側に人工聴覚器を装着している場合は、撮像条件の厳しい方に合わせること。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小にするため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・弾性包帯を巻く必要はない。 ・反対側に人工聴覚器を装着している場合は、撮像条件の厳しい方に合わせること。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小にするため、足からスキャナに入ることを推奨する。		・スキャン中、患者はクリック音やピープ音などの音知覚や違和感、痛みを知覚する可能性がある。MRI 実施の前に十分に患者に説明すること。これらの音知覚及びその大きさは、低 SAR や低勾配スルーレートを選択することで減らすことができる。 ・弾性包帯を巻く必要はない。 ・反対側に人工聴覚器を装着している場合は、撮像条件の厳しい方に合わせること。 ・上記の指示は、頭部以外(例えば膝等)を検査するときも従うこと。下肢を検査する場合は、脱磁のリスクを最小にするため、足からスキャナに入ることを推奨する。	
	安全性・有効性を示す試験結果	温度上昇 [°C] 1.5T	3℃以下(頭部SAR:3.2W/kg,スキャン時間15分)								
		同上 3T	3℃以下(頭部SAR:1.6W/kg,スキャン時間15分)								
		アーチファクト [mm] 1.5T									
		同上 3T	100mm(SE)								
		特記事項	・上記条件で 15 分のスキャン時間において本品に生じ得る最大の温度上昇は 3℃以下である。 ・本品が 3.0 T の MR 装置におけるスピンエコー法による撮像で生じうるアーチファクトは本品の実像から 10cm である。画像アーチファクト減少が望まれる場合、手術によりインプラント磁石を取り外すことが可能である。								
	薬事情報	承認番号/認証番号/届出番号	30400BZ100026000								
添付文書上の販売名		メドエル人工内耳SYNCHRONY2 FLEX									
製造販売元		メドエルジャパン株式会社									
JMDNコード／一般的名称(一般名)		35643000／人工内耳									
添付文書の最終改訂日		2026年8月改訂(第6版)									

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	人工中耳	骨固定型補聴器	
	商品名	RWカブラ OWカブラ CLIPカブラ VORP503	メドエル骨導インプラントBONEBRIDGE 構成品BCI601	BCI602 BCI602リフト
	商品コード	50292、50326、50284、51547	—	52483、52484
	機種番号	—	—	—
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	チタニウム、エポキシ樹脂、シリコン、ポリプロピレン、SEBS、マルテンサイト鋼	シリコン、チタン合金、ポリエーテルケトンケトン、ポリエーテルエーテルケトン、ポリプロピレン、ステンレス鋼、コポリエステル	シリコン、チタン合金、ポリエーテルケトンケトン、ポリエーテルエーテルケトン、ポリプロピレン
	MR適合性標識	MR conditional	MR conditional	MR conditional
	安全性(臨床)コメント	・MRI 非臨床試験によって、本品は MR Conditional であることが示されている。本品を埋植した患者に対して、以下に示される条件下においては、安全に MR 検査を実施することが可能である。 ・MRI 室に入る前に、全ての体外機器(オーディオプロセッサ及び付属品)を取り外すこと。	・MRI 非臨床試験によって、本品は MR Conditional であることが示されている。本品を埋植した患者に対して、以下に示される条件下においては、安全に MR 検査を実施することが可能である。	・MRI 非臨床試験によって、本品は MR Conditional であることが示されている。本品を埋植した患者に対して、以下に示される条件下においては、安全に MR 検査を実施することが可能である。
	許容される使用条件の詳細	—	—	—
許容される使用条件	静磁場強度 [T]	1.5T	1.5T	1.5T
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T	30T/m	30T/m	30T/m
	同上 3T			
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T	2.0W/kg	2.0W/kg	2.0W/kg
	同上 3T			
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μT] 1.5T			
	同上 3T			
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]			
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T			
	同上 3T			
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T			
	同上 3T			
	その他の使用条件	・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度：1.5T ・静磁場強度の勾配：30T/m(3,000Gauss/cm) ・MR 装置が示す 平均頭部／全身平均 SAR(Specific Absorption Rate)：3.2W/kg 未満／2.0W/kg(通常操作モード) ・局所 RF 送信コイルは頭頭部に使用しないこと。 ・スキャン中、頭部はまっすぐにした状態を保つこと。	・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度：1.5T ・静磁場強度の勾配：30T/m(3,000Gauss/cm) ・MR 装置が示す 平均頭部／全身平均 SAR(Specific Absorption Rate)：3.2W/kg 未満／2.0W/kg(通常操作モード)	・プロトンを利用する MR 装置 ・静磁場強度：1.5T ・静磁場強度の勾配：30T/m(3,000Gauss/cm) ・MR 装置が示す 平均頭部／全身平均 SAR(Specific Absorption Rate)：3.2W/kg 未満／2.0W/kg(通常操作モード)
	特記事項	・スキャン中、患者は雑音を知覚する可能性がある。MRI実施の前に、不快感がある場合は知らせる、必要であれば測定を中止するよう伝えることを患者に指導すること。 ・音入れ前に MRI 検査が必要とされる場合は、強い磁場内でインプラントが動くことで起こる創傷部位の合併症を避けるため、安全対策を講ずること。 ・下肢検査を実施する場合は、足からスキャナに入ること推奨する。	・オーディオプロセッサを取り外した状態でも、音を知覚する場合がある。	・オーディオプロセッサを取り外した状態でも、音を知覚する場合がある。
安全性・有効性を示す試験結果	温度上昇 [℃] 1.5T	2℃未満(頭部SAR3.2W/kg未満,スキャン時間15分)	2℃未満(頭部SAR3.2W/kg未満,スキャン時間15分)	2℃未満(頭部SAR3.2W/kg未満,スキャン時間15分)
	同上 3T			
	アーチファクト [mm] 1.5T	140mm(GRE)	150mm(GRE)	150mm(GRE)
	同上 3T			
	特記事項	上記条件で15分のスキャン時間において本品に生じる最大の温度上昇は2℃未満である。 本品が1.5TのMR装置における勾配磁場エコー法による撮像で生じるアーチファクトは本品の実像から約14cmである。	上記条件で15分のスキャン時間において本品に生じる最大の温度上昇は2℃未満である。 本品が1.5TのMR装置における勾配磁場エコー法による撮像で生じるアーチファクトは本品の実像から約15cmである。	上記条件で15分のスキャン時間において本品に生じる最大の温度上昇は2℃未満である。 本品が1.5TのMR装置における勾配磁場エコー法による撮像で生じるアーチファクトは本品の実像から約15cmである。
薬事情報	承認番号/認証番号/届出番号	22900BZI00020000	30200BZI00011000	30200BZI00011000
	添付文書上の販売名	メドエル人工中耳VORP503	メドエル骨導インプラントBONEBRIDGE 構成品BCI601	メドエル骨導インプラントBONEBRIDGE 構成品BCI602
	製造販売元	メドエルジャパン株式会社	メドエルジャパン株式会社	メドエルジャパン株式会社
	JMDNコード／一般的名称(一般名)	30084000／人工中耳	34180000／骨固定型補聴器	34180000／骨固定型補聴器
	添付文書の最終改訂日	2023年3月改訂(第6版)	2022年7月作成(第3版)	2023年3月改訂(第4版)

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	人工内耳		
	商品名	OPUS基本キット(D) OPUSコントロールユニット 送信ケーブル 送信コイル マグネット	OPUSコントロールユニット DUET2基本キット 送信ケーブル 送信コイル マグネット	SONNET基本キット SONNET3基本キット SONNET基本キット(DL) SONNET2基本キット(DL) SONNETコントロールユニット SONNET2コントロールユニット SONNET3コントロールユニット 送信ケーブル 送信コイル DLコイル マグネット DLコイルカバー SONNETイヤフック
	商品コード	07584、07585、07586、07587、07588、07589、07590、07591、07592、07593、07594、07595、07596、04310、04311、04312、04830、04831、04832、06502、06503、06504、06505、06506、06507、06508、01865、01866、01867、01871、01872、01873、06120、06121、06122、30465、06159、06160、06161、06162、06163、06164、06898、06899、06900、06901、07269、07270、07271、01432、01687、02826、02881、02893、02894、03154、03155、03968、03969、03970、03971、03972、03973、03974、03975、03976、03977、03978、03979、04040、04041、04042、04043、06098、06099、06100、06101、06102、06103、06104、06105、06106、06107、06108、06109、06110、06111、06112、06113、06114、06115、06206、06207、06208、06209、06210、06211、06928、06929、06930、06931、06934、06935、06936、06937、06940、06941、06942、06943、06946、06947、06948、06949、07284、07285、07286、07287、07288、07289、07290、07291、07292、07293、07294、07295、09801O、09802O、09803O、09804O、09805O、09806O、09807O、09808O、09809O、09810O、09811O、09812O、09813O、09814O、09815O、09816O、09817O、09818O、09819O、09820O、09821O、09822O、09823O、09824O、09825O、09826O、09827O、09828O、09829O、09830O、09831O、09832O、09833O、09834O、09835O、09836O、09837O、09838O、09839O、09840O、09841O、09842O、09843O、09844O、09845O、09846O、09847O、09848O、09849O、09850O、09851O、09852O	04310E、04311E、04312E、04830E、04831E、04832E、06502E、06503E、06504E、06505E、06506E、06507E、06508E、60031、60032、60033、60034、60035、60036、60070、60071、60072、60073、60074、60075、60076、08551、09079、09081、09083、09085、09087、09089、09091、09093、09095、09097、09099、09101、06120E、06121E、06122E、30465E、60055、60056、60057、60112、06159E、06160E、06161E、06162E、06163E、06164E、06898E、06899E、06900E、06901E、07269E、07270E、07271E、60058、60059、60060、60061、60062、60063、60077、60078、60079、60080、60097、60098、60099、06098E、06099E、06100E、06101E、06102E、06103E、06104E、06105E、06106E、06107E、06108E、06109E、06110E、06111E、06112E、06113E、06114E、06115E、06206E、06207E、06208E、06209E、06210E、06211E、06928E、06929E、06930E、06931E、06934E、06935E、06936E、06937E、06940E、06941E、06942E、06943E、06946E、06947E、06948E、06949E、07284E、07285E、07286E、07287E、07288E、07289E、07290E、07291E、07292E、07293E、07294E、07295E、60037、60038、60039、60040、60041、60042、60043、60044、60045、60046、60047、60048、60049、60050、60051、60052、60053、60054、60064、60065、60066、60067、60068、60069、60081、60082、60083、60084、60085、60086、60087、60088、60089、60090、60091、60092、60093、60094、60095、60096、60100、60101、60102、60103、60104、60105、60106、60107、60108、60109、60110、60111	07378、31350、31351、31352、31353、31354、43483、43485、43487、43489、43491、43493、31335、31336、31337、31338、31339、31340、37583、37586、37589、37592、37595、37598、30453、30749、30750、30751、30752、30753、34917、34925、34933、34941、34949、34957、39665、39667、39668、39670、39672、39673、30253、31571、31572、31580、31581、31582、31583、31595、31596、31597、31598、31599、31600、31601、31602、31603、32540、32541、32542、32543、32544、32545、32546、32547、33329、33330、33331、33332、06159S、06160S、06161S、07269S、07270S、31793S、31304、31305、06098S、06099S、06100S、06104S、06105S、06106S、06110S、06111S、06112S、06206S、06207S、06208S、07284S、07285S、07287S、07288S、07290S、07291S、07293S、07294S、09801S、09802S、09803S、09811S、09812S、09814S、09815S、09816S、09824S、09825S、09827S、09828S、09829S、09837S、09838S、09840S、09841S、09842S、09850S、09851S、09915S、31362、31363、31364、31365、31366、42137、31367、31368、31369、31370、31371、42138、31777S、31778S、31779S、31780S、31781S、31782S、31783S、31147、31148、31149、31150、31151、31152、31153、31154、31155、31156、31157、31158、32971、32972、32973、32974、32975、32976、30118
	機種番号	—	—	—
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	PC/ABS、ポリアミド樹脂	PC/ABS、ポリアミド樹脂	ポリアミド樹脂、熱可塑性ポリウレタンエラストマー、ビニルフィルム
	MR適合性標識	MR unsafe	MR unsafe	MR unsafe
	安全性(臨床)コメント	・MRI検査を行う場合は、本品を検査室に持ち込まないこと[磁気により本製品がMRI装置に吸着されたり、故障する可能性がある]。	・MRI検査を行う場合は、本品を検査室に持ち込まないこと[磁気により本品がMRI装置に吸着されたり、故障する可能性がある]。	・MRI検査を行う場合は、本品を検査室に持ち込まないこと[磁気により本製品がMRI装置に吸着されたり、故障する可能性がある]。
許容される使用条件	静磁場強度 [T]			
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T			
	同上 3T			
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T			
	同上 3T			
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μ T] 1.5T			
	同上 3T			
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]			
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T			
	同上 3T			
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T			
安全性・有効性を示す試験結果	同上 3T			
	その他の使用条件			
	特記事項			
	温度上昇 [°C] 1.5T			
	同上 3T			
	アーチファクト [mm] 1.5T			
	同上 3T			
薬事情報	特記事項			
	承認番号/認証番号/届出番号	22100BZI00010000	22500BZI00020000	22700BZI00037000
	添付文書上の販売名	メドエルオーディオプロセッサOPUS	メドエル人工内耳E(オーディオプロセッサDUET2) 構成品オーディオプロセッサDUET2	メドエルオーディオプロセッサSONNET
	製造販売元	メドエルジャパン株式会社	メドエルジャパン株式会社	メドエルジャパン株式会社
	JMDNコード／一般的名称(一般名)	35643000／人工内耳	35643000／人工内耳	35643000／人工内耳
	添付文書の最終改訂日	2023年10月改訂(第12版)	2023年10月改訂(第6版)	2026年7月改訂(第12版)

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	人工内耳			
	商品名	SONNET3 EAS基本キット SONNET EAS基本キット(DL) SONNET2 EAS基本キット(DL) SONNET EASコントロールユニット SONNET2 EASコントロールユニット SONNET3 EASコントロールユニット 送信ケーブル DLコイル マグネット DLコイルカバー	RONDOコントロールユニット RONDO基本キット マグネット	RONDO2コントロールユニット RONDO2基本キット RONDO2カバー マグネット	RONDO3コントロールユニット RONDO3基本キット マグネット
	商品コード	43495、43497、43499、43501、43503、43505、31341、31342、31343、31344、31345、31346、37727、37730、37733、37736、37739、37742、30454、30754、30755、30756、30757、30758、34921、34929、34937、34945、34953、34961、41790、41791、41792、41793、41794、41795、31580E、31581E、31582E、31583E、32540E、32541E、32542E、32543E、32544E、32545E、32546E、32547E、31304E、31305E、09801E、09802E、09803E、09804E、09805E、09806E、09807E、09808E、09809E、09810E、09811E、09812E、09813E、09814E、09815E、09816E、09817E、09818E、09819E、09820E、09821E、09822E、09823E、09824E、09825E、09826E、09827E、09828E、09829E、09830E、09831E、09832E、09833E、09834E、09835E、09836E、09837E、09838E、09839E、09840E、09841E、09842E、09843E、09844E、09845E、09846E、09847E、09848E、09849E、09850E、09851E、09852E、31362E、31363E、31364E、31365E、31366E、42137E、31367E、31368E、31369E、31370E、31371E、42138E、31147E、31148E、31149E、31150E、31151E、31152E、31153E、31154E、31155E、31156E、31157E、31158E、32971E、32972E、32973E、32974E、32975E、32976E	08284、08475、08476、08477、60001、60002、60113、60114、08280、08281、08282、08283、31005、31006、31007、31008、34365、34367	30459、35321、35546、35547、35548、35549、35550、35552、35553、35554、35555、35556、31253、31254、31255、31256、35153、35154、35155、35156、35157	39246、37379、36994、36995、36996、36997、38122、38123、38124、39425、39426、39432
	機種番号	—	—	—	—
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	ポリアミド樹脂、熱可塑性ポリウレタンエラストマー、ビニルフィルム	PC/ABS、磁石	PC/ABS、磁石	PC/ABS、磁石
	MR適合性標識	MR unsafe	MR unsafe	MR unsafe	MR unsafe
	安全性(臨床)コメント	・MRI検査を行う場合は、本品を検査室に持ち込まないこと[磁気により本製品がMRI装置に吸着されたり、故障する可能性がある]。	・MRI 検査を行う場合は、本品を検査室に持ち込まないこと[磁気により本製品が MRI 装置に吸着されたり、故障する可能性がある]。	・MRI検査を行う場合は、本品を検査室に持ち込まないこと[磁気により本製品がMRI装置に吸着されたり、故障する可能性がある]。	・MRI検査を行う場合は、本品を検査室に持ち込まないこと[磁気により本製品がMRI装置に吸着されたり、故障する可能性がある]。
許容される使用条件	静磁場強度 [T]				
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T				
	同上 3T				
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T				
	同上 3T				
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μ T] 1.5T				
	同上 3T				
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]				
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T				
	同上 3T				
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T				
	同上 3T				
安全性・有効性を示す試験結果	その他の使用条件				
	特記事項				
	温度上昇 [°C] 1.5T				
	同上 3T				
	アーチファクト [mm] 1.5T				
	同上 3T				
薬事情報	特記事項				
	承認番号/認証番号/届出番号	22900BZI00007000	23000BZI00022000	23000BZI00022000	23000BZI00022000
	添付文書上の販売名	メドエルオーディオプロセッサSONNET EAS	メドエルオーディオプロセッサRONDO 構成品RONDO	メドエルオーディオプロセッサRONDO 構成品RONDO2	メドエルオーディオプロセッサRONDO 構成品RONDO3
	製造販売元	メドエルジャパン株式会社	メドエルジャパン株式会社	メドエルジャパン株式会社	メドエルジャパン株式会社
	JMDNコード／一般的名称(一般名)	35643000／人工内耳	35643000／人工内耳	35643000／人工内耳	35643000／人工内耳
	添付文書の最終改訂日	2026年7月改訂(第9版)	2026年7月改訂(第3版)	2026年7月改訂(第5版)	2026年7月改訂(第5版)

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧下さい。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	人工中耳		骨固定型補聴器	
	商品名	SAMBA	Amade VORP502	メドエル骨導インプラントBONEBRIDGE 構成品Amade BB	SAMBA BB
	商品コード	51555、51556、51557、51558	50385、50386、50387、50388、50391、50392、50393、50394、50397、50398、50399、50400、50403、50404、50405、50406、10892-001、10893-001	—	51559、51560
	機種番号	—	—	—	—
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	コポリエステル	シリコーン、チタニウム、エポキシ樹脂、ポリプロピレン、SEBS、ポリカーボネート/ポリエステル樹脂	ポリカーボネート/ポリエステル樹脂	コポリエステル
	MR適合性標識	MR unsafe	MR unsafe	MR unsafe	MR unsafe
	安全性(臨床)コメント	・併用禁忌(併用しないこと) [医療機器の名称等]核磁気共鳴画像診断装置(MRI装置) [臨床症状・措置方法]検査室に持ち込まないこと [機序・危険因子]磁気により本製品がMRI装置に吸着されたり、故障する可能性がある。	・本品はMR Unsafeであり、MR検査は禁忌とする。	・併用禁忌(併用しないこと) [医療機器の名称等]核磁気共鳴画像診断装置(MRI装置) [臨床症状・措置方法]検査室に持ち込まないこと [機序・危険因子]磁気により本製品がMRI装置に吸着されたり、故障する可能性がある。	・併用禁忌(併用しないこと) [医療機器の名称等]核磁気共鳴画像診断装置(MRI装置) [臨床症状・措置方法]検査室に持ち込まないこと [機序・危険因子]磁気により本製品がMRI装置に吸着されたり、故障する可能性がある。
許容される使用条件	静磁場強度 [T]				
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T				
	同上 3T				
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T				
	同上 3T				
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μ T] 1.5T				
	同上 3T				
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]				
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T				
	同上 3T				
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T				
	同上 3T				
安全性・有効性を示す試験結果	その他の使用条件				
	特記事項				
	温度上昇 [°C] 1.5T				
	同上 3T				
	アーチファクト [mm] 1.5T				
	同上 3T				
薬事情報	特記事項				
	承認番号/認証番号/届出番号	22800BZI00035000	22700BZI00024000	30200BZI00011000	30200BZI00011000
	添付文書上の販売名	メドエルオーディオプロセッサSAMBA	メドエル人工中耳VSB	メドエル骨導インプラントBONEBRIDGE 構成品Amade BB	メドエル骨導インプラントBONEBRIDGE 構成品SAMBA BB
	製造販売元	メドエルジャパン株式会社	メドエルジャパン株式会社	メドエルジャパン株式会社	メドエルジャパン株式会社
	JMDNコード／一般的名称(一般名)	30084000／人工中耳	30084000／人工中耳	34180000／骨固定型補聴器	34180000／骨固定型補聴器
	添付文書の最終改訂日	2024年1月改訂第5版	2022年7月作成(第4版)	2021年4月作成(第1版)	2024年1月改訂(第2版)

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	骨導式補聴器
	商品名	ADHEAR ADHEARアダプタ ADHEARヘッドバンド ADHEARシリコンカバー
	商品コード	38196,38197,38198,34689,34691,35324,35325,35326,39606,39607,39608,39609,35328,35329,35330
	機種番号	—
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	アクリル系粘着剤、ポリカーボネート、ポリエステル、ポリウレタン
	MR適合性標識	MR unsafe
	安全性(臨床)コメント	・放射線治療、X 線・CT 検査または MRI 検査を行う場合は、本品を放射線治療室または検査室に持ち込まないでください[本品を損傷することがあります]。
許容される使用条件	静磁場強度 [T]	
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T	
	同上 3T	
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T	
	同上 3T	
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μ T] 1.5T	
	同上 3T	
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]	
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T	
	同上 3T	
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T	
	同上 3T	
	その他の使用条件	
安全性・有効性を示す試験結果	特記事項	
	温度上昇 [°C] 1.5T	
	同上 3T	
	アーチファクト [mm] 1.5T	
	同上 3T	
薬事情報	特記事項	
	承認番号/認証番号/届出番号	303AABZI00037000
	添付文書上の販売名	メドエル骨導補聴器ADHEAR
	製造販売元	メドエルジャパン株式会社
	JMDNコード／一般的名称(一般名)	33993000／骨導式補聴器
	添付文書の最終改訂日	2025年11月改訂(第3版)

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	人工内耳			
	商品名	Nucleus24インプラント Nucleus24kインプラント	Nucleus24コントゥアインプラント Nucleusインプラント Freedomインプラント+Contour Advance電極 Freedomインプラント+ストレート電極		
	商品コード	Z43002、Z43006	Z43007、Z190574、Z60353、Z60132		
	機種番号	CI24M、CI24R(ST)	CI24R(CS)、CI422、CI24RE(CA)、CI24RE(ST)		
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	シリコン、チタニウム、白金		シリコンゴム、チタン、白金	
	MR適合性標識	MR conditional		MR conditional	
	安全性(臨床)コメント	非臨床試験により、本品は MR Conditional であることが示されている。本品を装着した患者に対して、以下に示される条件下においては安全に MR 検査を実施することが可能である。(自己認証) 詳細についてはコクレア社のMRI検査ガイドラインを参照すること。 ・MR 装置が設置された部屋に入る場合には、前もってスピーチプロセッサとヘッドセットを外すこと。 ・MR 検査は必ず【使用方法等】に記載の対応基準に従うこと。 ・MR 検査時には、患者にナースコールボールを持たせるとともに、MRI操作者は患者状態を注意深くモニタリングすること。 ・MR検査後はインプラントが正常に動作することを確認すること。 MR装置との互換性は、インプラントのモデルにより異なる。モデルが不明確な場合は、判別のため医師はX線を使用して、インプラント上のX線不透過文字を確認すること。どのインプラントにも白金で3文字が印字されている。真ん中の文字がモデルを表す。 インプラントCI24M、CI24RST: (透視したときの真ん中の文字が「C」、「G」、「H」、「P」、「T」、「2」、「4」、「5」、「7」のいずれか)		臨床試験により、本品はMR Conditional であることが示されている。本品を装着した患者に対して、以下に示される条件下においては安全にMR検査を実施することが可能である。(自己認証) 詳細についてはコクレア社の MRI 検査ガイドラインを参照すること。 ・コクレア人工内耳システムの体外装置(サウンドプロセッサ、リモートアシスタント、関連アクセサリ等)は MR 禁忌である。人工内耳装用者がMRI検査室に入る前に全ての体外装置を外すよう指示すること。 ・MRI検査は必ず【使用方法等】に記載の対応基準に従って行うこと。 ・MR装置との互換性は、インプラントのモデルにより異なる。モデルが不明確な場合は、判別のため医師は X 線を使用して、インプラント上の X 線不透過文字を確認すること。どのインプラントにも白金で 3 文字が印字されている。真ん中の文字がモデルを表す。 インプラントCI24R(CS)、CI24RE(CA)、CI24RE(ST)、CI422: (透視したときの真ん中の文字が「C」、「G」、「H」、「P」、「T」、「2」、「4」、「5」、「7」のいずれか)	
許容される使用条件	許容される使用条件の詳細	1.5Tまで	1.5Tを超え3.0Tまで	1.5Tまで	1.5Tを超え3Tまで
	静磁場強度 [T]	1.5T	3T	1.5T	3T
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T	20T/m		20T/m	
	同上 3T		20T/m		20T/m
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T	1W/kg		1W/kg	
	同上 3T		0.5W/kg		0.5W/kg
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μ T] 1.5T				
	同上 3T				
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]				
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T				
	同上 3T				
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T	60分		60分	
	同上 3T		60分		60分
	その他の使用条件	・静磁場強度: 1.5 T ・静磁場強度の勾配: 2,000 Gauss/cm (20 T/m) ・MR 装置が示す最大平均SAR(Specific Absorption Rate): 全身 1W/kg／頭部 2W/kg ・最大MR検査時間: 60分(連続スキャン)	・静磁場強度: 3.0 T ・静磁場強度の勾配: 2,000 Gauss/cm (20 T/m) ・MR 装置が示す最大平均SAR (Specific Absorption Rate): 全身 0.5W/kg／頭部 1W/kg ・最大MR検査時間: 60分(連続スキャン)	・静磁場強度: 1.5 T ・静磁場強度の勾配: 2,000 Gauss/cm (20 T/m) ・MR 装置が示す最大平均SAR(Specific Absorption Rate): 全身 1W/kg／頭部 2W/kg ・最大MR検査時間: 60分(連続スキャン)	・静磁場強度: 3.0 T ・静磁場強度の勾配: 2,000 Gauss/cm (20 T/m) ・MR 装置が示す最大平均SAR (Specific Absorption Rate): 全身 0.5W/kg／頭部 1W/kg ・最大MR検査時間: 60分(連続スキャン)
	特記事項	対応基準(自己認証) MR検査は磁石を元の位置に置いた状態のまま行う。磁石が移動しないように、下記に従って、頭部に包帯を巻くこと。 ・伸縮性包帯を使用する。 ・包帯の中心線が確実にインプラント埋め込み部位の上にあること。 ・インプラント埋め込み部位を強く圧迫するために、最大伸縮あたりまで引き伸ばして二回以上巻くこと。 ・プラスチックのカード状の固定材を使用する場合は、その上から伸縮性包帯を巻いて固定すること。 ・患者が包帯による痛みを訴える場合は、直ちに包帯を取り、磁石を取り外してのMR検査を検討する。 Cochlear MRIキット使用時の注意 ・痛みや不快感を最小限に抑えるため、スプリントと包帯はMRI検査室に入る直前に装着すること。 ・撮影前に、スプリントがしっかりと固定されていることを確認すること。[撮影中にスプリントが緩み、患者又は医療従事者の負傷や、MRI装置の破損が生じる恐れがある。] ・撮影前に、スプリントがずれていないことを確認すること。[撮影中に磁石が外れ、痛みが生じたり、外科的処置が必要となる恐れがある。] ・MRI検査室から退出後は、すぐにスプリントと包帯を外すこと。	対応基準(自己認証) MR検査はインプラントの磁石を外科手術によって取り外した後、行う。	対応基準(自己認証) MR検査は磁石を元の位置に置いた状態のまま行う。磁石が移動しないように、下記に従って、頭部に包帯を巻くこと。 ・伸縮性包帯を使用する。 ・包帯の中心線が確実にインプラント埋め込み部位の上にあること。 ・インプラント埋め込み部位を強く圧迫するために、最大伸縮あたりまで引き伸ばして二回以上巻くこと。 ・プラスチックのカード状の固定材を使用する場合は、その上から伸縮性包帯を巻いて固定すること。 ・患者が包帯による痛みを訴える場合は、直ちに包帯を取り、磁石を外してのMR検査を検討する。 推奨された方法による包帯等使用時には起こりにくいことだが、MRI検査中に磁石が移動してインプラントのポケットから外れる可能性がある。この場合は、外科的処置による磁石のはめ直しまたは交換が必要となる。 Cochlear MRI キット使用時の注意 ・痛みや不快感を最小限に抑えるため、スプリントと包帯は MRI 検査室に入る直前に装着すること。 ・撮影前に、スプリントがしっかりと固定されていることを確認すること。[撮影中にスプリントが緩み、患者又は医療従事者の負傷や、MRI 装置の破損が生じる恐れがある。] ・撮影前に、スプリントがずれていないことを確認すること。[撮影中に磁石が外れ、痛みが生じたり、外科的処置が必要となる恐れがある。] ・MRI 検査室から退出後は、すぐにスプリントと包帯を外すこと。	対応基準(自己認証) MRI検査はインプラントの磁石を外科手術によって取り外した後、行う。
安全性・有効性を示す試験結果	温度上昇 [°C] 1.5T	2℃未満(頭部SAR:2W/kg,スキャン時間15分)		4.1℃未満(頭部SAR:2W/kg,スキャン時間15分,CI422の場合)	
	同上 3T		2℃未満(頭部SAR:1W/kg,スキャン時間15分)		3.3℃未満(頭部SAR:1W/kg,スキャン時間15分,CI24RE(CA)、24RE(ST)の場合)
	アーチファクト [mm] 1.5T	55mm(SE,磁石あり,CI24R(ST),CI24Mの場合)		55mm(SE,磁石あり)	
	同上 3T		41mm(SE,CI24Mの場合)		34mm(SE)
	特記事項	本品が1.5 TのMR 装置におけるスピネコー法による撮像で生じうるアーチファクトは、CI24R(ST)では本品の実像から5.5 cm(磁石あり)/3.2 cm(磁石なし)、CI24Mでは本品の実像から5.5 cm(磁石あり)/3.7 cm(磁石なし)である。 上記条件で15 分のスキャン時間において本品に生じうる最大の温度上昇は2 ℃未満である。 ・MR 画像の画質は、インプラントによる影響を受けることになる。そのため、インプラント近辺の診断情報は失われる。また、磁石を取り外すことは患者に感染のリスクを伴う。これらを踏まえて、MR検査を実施することの医学的必要性を考慮すること。	本品が3 TのMR 装置におけるスピネコー法による撮像で生じうるアーチファクトは、CI24R(ST)では本品の実像から3.4 cm、CI24Mでは本品の実像から4.1 cmである。 上記条件で15 分のスキャン時間において本品に生じうる最大の温度上昇は2 ℃未満である。 ・MR 画像の画質は、インプラントによる影響を受けることになる。そのため、インプラント近辺の診断情報は失われる。また、磁石を取り外すことは患者に感染のリスクを伴う。これらを踏まえて、MR検査を実施することの医学的必要性を考慮すること。	上記条件で15 分のスキャン時間において本品に生じうる最大の温度上昇は、CI422では4.1 ℃未満、CI24RE(CA)、24RE(ST)では3.6 ℃未満である。 本品が1.5 TのMR装置におけるスピネコー法による撮像で生じうるアーチファクトは本品の実像から5.5 cm(磁石あり)/3.2 cm(磁石なし)である。 ・MR画像の画質は、インプラントによる影響を受けることになる。そのため、インプラント近辺の診断情報は失われる。また、磁石を取り外すことは患者に感染のリスクを伴う。これらを踏まえて、MR検査を実施することの医学的必要性を考慮すること。	上記条件で15 分のスキャン時間において本品に生じうる最大の温度上昇は、CI422では2.2 ℃未満、CI24RE(CA)、24RE(ST)では3.3 ℃未満、CI24R(CS)では2 ℃未満である。 本品が3TのMR装置におけるスピネコー法による撮像で生じうるアーチファクトは本品の実像から3.4 cmである。 ・MR画像の画質は、インプラントによる影響を受けることになる。そのため、インプラント近辺の診断情報は失われる。また、磁石を取り外すことは患者に感染のリスクを伴う。これらを踏まえて、MR検査を実施することの医学的必要性を考慮すること。
	承認番号/認証番号/届出番号	21100BZY00464000		21800BZY10061000	
業事情報	添付文書上の販売名	N24システム		コントゥアインプラント	
	製造販売元	株式会社日本コクレア		株式会社日本コクレア	
	JMDNコード／一般的名称(一般名)	35643000／人工内耳		35643000／人工内耳	
	添付文書の最終改訂日	2025年9月(第14版)		2025年9月(第11版)	

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	人工内耳								
	商品名	Nucleus Profileインプラント Nucleusインプラント(スリム・モディオーラ電極)								
	商品コード	Z209051、Z382660、Z285654								
	機種番号	CI512、CI522、CI532								
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	シリコンゴム、チタン、白金								
	MR適合性標識	MR conditional								
	安全性(臨床)コメント	・非臨床試験によって本品はMR Conditional であることが示されている。本品を装着した患者に対して、以下に示される条件下においては、安全にMRI検査を実施することが可能である。詳細についてはコクレア社のMRI検査ガイドラインを参照すること。 ・コクレア人工内耳システムの体外装置(サウンドプロセッサ、リモートアシスタント、関連アクセサリ等)は MR 禁忌である。人工内耳装用者がMRI検査室に入る前に全ての体外装置を外すよう指示すること。 ・MRI検査は必ず【使用方法等】に記載の対応基準に従って行うこと。								
許容される使用条件	許容される使用条件の詳細	CI512を植込んでおり、静磁場強度が1.5Tで、かつ、撮像部位が頭頂から椎骨T1及び頭頂から40cmまでの場合	CI512を植込んでおり、静磁場強度が1.5Tで、かつ、撮像部位が頭頂から40cm超の場合	CI522,CI532を植込んでおり、静磁場強度が1.5Tで、かつ、撮像部位が頭頂から椎骨T1及び頭頂から40cmまでの場合	CI522,CI532を植込んでおり、静磁場強度が1.5Tで、かつ、撮像部位が頭頂から40cm超の場合	CI512を植込んでおり、静磁場強度が3.0Tで、かつ、撮像部位が頭頂から椎骨T1及び頭頂から40cmまでの場合	CI512を植込んでおり、静磁場強度が3.0Tで、かつ、撮像部位が頭頂から40cm超の場合	CI522,CI532を植込んでおり、静磁場強度が3.0Tで、かつ、撮像部位が頭頂から椎骨T1及び頭頂から40cmまでの場合	CI522,CI532を植込んでおり、静磁場強度が3.0Tで、かつ、撮像部位が頭頂から40cm超の場合	
	静磁場強度 [T]	1.5T	1.5T	1.5T	1.5T	3T	3T	3T	3T	
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T	20T/m	20T/m	20T/m	20T/m			20T/m	20T/m	
	同上 3T					20T/m	20T/m	20T/m	20T/m	
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T									
	同上 3T					≦1.8W/kg	≦2.0W/kg	≦2.0W/kg	≦2.0W/kg	
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μ T] 1.5T									
	同上 3T									
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]									
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T									
	同上 3T									
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T									
	同上 3T									
	その他の使用条件	・静磁場強度：1.5T ・静磁場強度の勾配：2000 gauss/cm ・MR装置が示す最大SAR(Specific Absorption Rate) [磁場強度] 1.5T [モデル] C512 [頭部(W/kg)] 通常操作モード [全身 (W/kg)頭頂から椎骨T1 及び頭頂から40cmまで] 通常操作モード ・最大MR検査時間：制限なし	・静磁場強度：1.5T ・静磁場強度の勾配：2000 gauss/cm MR装置が示す最大SAR(Specific Absorption Rate) [磁場強度] 1.5T [モデル] C512 [頭部(W/kg)] 通常操作モード [全身 (W/kg)頭頂から 40cm超] 通常操作モード ・最大MR検査時間：制限なし	・静磁場強度：1.5T ・静磁場強度の勾配：2000 gauss/cm ・MR装置が示す最大SAR(Specific Absorption Rate) [磁場強度] 1.5T [モデル] CI522,CI532 [頭部(W/kg)] 通常操作モード [全身 (W/kg)頭頂から椎骨T1 及び頭頂から40cmまで] 通常操作モード ・最大MR検査時間：制限なし	・静磁場強度：1.5T ・静磁場強度の勾配：2000 gauss/cm ・MR装置が示す最大SAR(Specific Absorption Rate) [磁場強度] 1.5T [モデル] CI522,CI532 [頭部(W/kg)] 通常操作モード [全身 (W/kg)頭頂から40cm超] 通常操作モード ・最大MR検査時間：制限なし	・静磁場強度：3.0T ・静磁場強度の勾配：2000 gauss/cm ・MR装置が示す最大SAR(Specific Absorption Rate) [磁場強度] 3.0T [モデル] C512 [頭部(W/kg)] ≦ 1.8 [全身 (W/kg)頭頂から椎骨T1 及び頭頂から40cmまで] ≦ 1.8 ・最大MR検査時間：制限なし	・静磁場強度：3.0T ・静磁場強度の勾配：2000 gauss/cm ・MR装置が示す最大SAR(Specific Absorption Rate) [磁場強度] 3.0T [モデル] C512 [頭部(W/kg)] ≦ 1.8 [全身 (W/kg)頭頂から 40cm超] ≦ 2.0 ・最大MR検査時間：制限なし	・静磁場強度：3.0T ・静磁場強度の勾配：2000 gauss/cm ・MR装置が示す最大SAR(Specific Absorption Rate) [磁場強度] 3.0T [モデル] CI522,CI532 [頭部(W/kg)] ≦ 2.0 [全身 (W/kg)頭頂から椎骨T1 及び頭頂から40cmまで] ≦ 2.0 ・最大MR検査時間：制限なし	・静磁場強度：3.0T ・静磁場強度の勾配：2000 gauss/cm ・MR装置が示す最大SAR(Specific Absorption Rate) [磁場強度] 3.0T [モデル] CI522,CI532 [頭部(W/kg)] ≦ 2.0 [全身 (W/kg)頭頂から 40cm超] ≦ 2.0 ・最大MR検査時間：制限なし	
	特記事項	[1.5T まで] Cochlear MRI キットを使用することにより、インプラントに磁石が入った状態で1.5T までの磁気共鳴画像診断装置(MR装置)による検査を実施することができる。 ・Cochlear MRI キットの使用 (1) サウンドプロセッサを取り外し、Cochlear MRI キットのスプリントを(2)の手順で装着する。 (2) スプリントを、インプラントが植込まれた部位に近づけると、磁気の引力を感じる。スプリントをサウンドプロセッサ(の送信コイル)を取り外した部位に正確に装着する。 (3) 額から髪を除け、包帯をロールから外す時に必要だった力で引っ張った状態で、頭蓋の底部から始めて頭の周りに包帯を巻く。この際、スプリントが完全に覆われ、開始時の位置から移動しないように気を付ける。 (4) 頭蓋の底部を固定点として包帯を巻き続ける(これにより、包帯がずれるのを防ぐ)。包帯は毎周スプリントを覆うように巻く。この際、スプリントがずれていないことを確認する。 (5) 包帯の全長を巻き終わるまで包帯を巻き続ける(途中で包帯を切らない)。 (6) 包帯を巻き終わったら、包帯全体を注意深く手で押して、包帯の層が確実に密着してしっかりと固定されるようにする。 推奨された方法による包帯等使用時においても、稀にMRI検査中に磁石が移動してインプラントのポケットから外れる可能性がある。この場合は、外科的処置による磁石のはめ直しまたは交換が必要となる。 Cochlear MRI キット使用時の注意 ・痛みや不快感を最小限に抑えるため、スプリントと包帯は MRI 検査室に入る直前に装着すること。 ・撮影前に、スプリントがしっかりと固定されていることを確認すること。[撮影中にスプリントが緩み、患者又は医療従事者の負傷や、MRI 装置の破損が生じる恐れがある。] ・撮影前に、スプリントがずれていないことを確認すること。[撮影中に磁石が外れ、痛みが生じたり、外科的処置が必要となる恐れがある。] ・MRI検査室から退出後は、すぐにスプリントと包帯を外すこと。				[1.5T を超え3Tまで] MRI検査は、外科手術によりインプラントから磁石を取り外して行う。				
	安全性・有効性を示す試験結果	温度上昇 [°C] 1.5T								
		同上 3T								
		アーチファクト [mm] 1.5T	124mm(磁石及び磁気スプリントあり)							
		同上 3T	29mm(磁石を取り外し、非磁性プラグを取り付けた状態)							
		特記事項	・非臨床試験によると、本品が MR装置による撮像で生じるアーチファクトは本品の実像から以下の距離となる。 ＜MARS法、軸平面＞ 磁石及び磁気スプリントあり：12.4cm (1.5T) 磁石を取り外し、非磁性プラグを取り付けた状態：2.9cm (1.5T, 3.0T) ・MR 画像の画質は、インプラントによる影響を受けることになる。そのため、インプラント近辺の診断情報は失われる。また、磁石を取り外すことは患者に感染のリスクを伴う。これらを踏まえて、MRI検査を実施することの医学的必要性を考慮すること。							
薬事情報	承認番号/認証番号/届出番号	22700BZX00337000								
	添付文書上の販売名	コクレアインプラント5								
	製造販売元	株式会社日本コクレア								
	JMDNコード／一般的名称(一般名)	35643000／人工内耳								
	添付文書の最終改訂日	2025年8月(第8版)								

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	人工内耳								
	商品名	Nucleus Profile Plus人工内耳インプラント		Nucleus Nexa人工内耳インプラント			※次ページへ続く(1/2)			
	商品コード	P774600、P783829、P783831		P1979576、Z334204、P1434929						
	機種番号	CI612、CI622、CI632		CI1012、CI1022、CI1032						
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	シリコーンゴム、チタン、白金		シリコーンゴム、チタン、白金、白金イリジウム						
	MR適合性標識	MR conditional		MR conditional						
	安全性(臨床)コメント	・本品は、植込みをしたままの状態 で 3.0T までの磁気共鳴画像診断装置(MR装置)による検査を実施することができる。 ・非臨床試験によって本品はMR Conditional であることが示されている。本品を装着した患者に対して、以下に示される条件下においては、安全にMRI検査を実施することが可能である。詳細についてはコクレア社のMRI検査ガイドラインを参照すること。 ・コクレア人工内耳システムの体外装置(サウンドプロセッサ、リモートアシスタント、関連アクセサリ等)は MR 禁忌である。人工内耳装用者がMRI検査室に入る前に全ての体外装置を外すよう指示すること。		・本品は、植込みをしたままの状態 で 3.0T までの磁気共鳴画像診断装置(MR装置)による検査を実施することができる。 ・非臨床試験によって本品は MR Conditional であることが示されている。 ・本品を植込んだ患者に対して、以下に示される条件下においては、安全に MRI 検査を実施することが可能である。詳細についてはコクレア社のMRI検査ガイドラインを参照すること。 ・コクレア人工内耳システムの体外装置(サウンドプロセッサ、リモートアシスタント、関連アクセサリ等)は MR 禁忌である。人工内耳装用者が MRI 検査室に入る前に全ての体外装置を外すよう指示すること。						
許容される使用条件	許容される使用条件の詳細	CI612を使用している場合		CI622,CI632を使用している場合		CI1012を植込んでおり、静磁場強度が1.5Tで、かつ、撮像部位が頭頂から椎骨T1 及び頭頂から40cmまでの場合	CI1012を植込んでおり、静磁場強度が1.5Tで、かつ、撮像部位が頭頂から 40cm以上の場合	CI1022を植込んでおり、静磁場強度が1.5Tで、かつ、撮像部位が頭頂から椎骨T1 及び頭頂から40cmまでの場合	CI1022を植込んでおり、静磁場強度が1.5Tで、かつ、撮像部位が頭頂から 40cm以上の場合	
	静磁場強度 [T]	1.5T,3T		1.5T,3T		1.5T	1.5T	1.5T	1.5T	
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T	20T/m		20T/m		20T/m	20T/m	20T/m	20T/m	
	同上 3T	20T/m		20T/m						
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T	1W/kg		1W/kg		≤2.0W/kg	≤2.0W/kg			
	同上 3T	0.5W/kg		0.4W/kg						
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μ T] 1.5T									
	同上 3T									
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]									
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T									
	同上 3T									
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T	60分		60分						
	同上 3T	60分		60分						
	その他の使用条件	・MRI検査静磁場強度: 1.5T, 3.0T ・静磁場強度の勾配: 2000 gauss/cm ・MR装置が示す最大SAR(Specific Absorption Rate) 全身SAR 1 W/kg (1.5T) 0.5 W/kg (3.0T) – CI612 頭部SAR 2 W/kg (1.5T) 1 W/kg (3.0T) ・最大MR検査時間: 60分(連続スキャン)		・MRI検査静磁場強度: 1.5T, 3.0T ・静磁場強度の勾配: 2000 gauss/cm ・MR装置が示す最大SAR(Specific Absorption Rate) 全身SAR 1 W/kg (1.5T) 0.4 W/kg (3.0T) – CI622 / CI632 頭部SAR 2 W/kg (1.5T) 1 W/kg (3.0T) ・最大MR検査時間: 60分(連続スキャン)		・MRI検査静磁場強度: 1.5T ・静磁場強度の勾配: 2000 gauss/cm ・MR装置が示す最大SAR(Specific Absorption Rate) [磁場強度] 1.5T [モデル] CI1012 [頭部(W/kg)] ≤2.2 [全身 (W/kg)頭頂から椎骨T1 まで及び頭頂から40cm まで] ≤ 2.0	・MRI検査静磁場強度: 1.5T ・静磁場強度の勾配: 2000 gauss/cm ・MR装置が示す最大SAR(Specific Absorption Rate) [磁場強度] 1.5T [モデル] CI1012 [頭部(W/kg)] ≤2.2 [全身(W/kg)頭頂から40cm以上] ≤ 2.0	・MRI検査静磁場強度: 1.5T ・静磁場強度の勾配: 2000 gauss/cm ・MR装置が示す最大SAR(Specific Absorption Rate) [磁場強度] 1.5T [モデル] CI1022 [頭部(W/kg)] 通常操作モード [全身 (W/kg)頭頂から椎骨T1 まで及び頭頂から40cm まで] 通常操作モード	・MRI検査静磁場強度: 1.5T ・静磁場強度の勾配: 2000 gauss/cm ・MR装置が示す最大SAR(Specific Absorption Rate) [磁場強度] 1.5T [モデル] CI1022 [頭部(W/kg)] 通常操作モード [全身 (W/kg)頭頂から40cm以上] 通常操作モード	
	特記事項					最大MR検査時間: 制限なし MRI スキャンは、直交モード又は CP モードで実行すること。 RF 送信コイルでのマルチチャンネルモードでの実施は、局所的に安全レベルを超えた温度上昇になる可能性がある。				
	安全性・有効性を示す試験結果	温度上昇 [°C] 1.5T								
		同上 3T								
		アーチファクト [mm] 1.5T	104mm (GRE,磁石カセットあり)				68mm (SE,磁石カセットあり)			
		同上 3T	107mm (GRE,磁石カセットあり)				65mm (SE,磁石カセットあり)			
特記事項		・本品が MR 装置による撮像で生じるアーチファクトは本品の実像から以下の距離となる。 <磁石カセットあり/勾配エコー> 10.4cm (1.5T) 10.7cm (3.0T) <磁石カセットなし /スピネエコー> 4.8cm (1.5T) 5.6cm (3.0T) ・MR画像の画質は、インプラントによる影響を受けることになる。そのため、インプラント近辺の診断情報は失われる。また、磁石を取り外すことは患者に感染のリスクを伴う。これらを踏まえて、MRI検査を実施することの医学的必要性を考慮すること。				・本品がMR装置による撮像で生じるアーチファクトは本品の実像から以下の距離となる。 <磁石カセットあり / MARSターボスピネエコー> 6.8 cm (1.5T) 6.5 cm (3.0T) <磁石カセットなし / MARS ターボスピネエコー> 2.7 cm (1.5T) 3.3 cm (3.0T) ・MR 画像の画質は、インプラントによる影響を受けることになる。そのため、インプラント近辺の診断情報は失われる。また、磁石を取り外すことは患者に感染のリスクを伴う。これらを踏まえて、MRI検査を実施することの医学的必要性を考慮すること。				
薬事情報	承認番号/認証番号/届出番号	30200BZX00205000				30700BZX00049000				
	添付文書上の販売名	コクレアインプラント6				コクレアインプラントNexa				
	製造販売元	株式会社日本コクレア				株式会社日本コクレア				
	JMDNコード／一般的名称(一般名)	35643000／人工内耳				35643000／人工内耳				
	添付文書の最終改訂日	2026年3月(第5版)				2026年5月(第1版)				

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	人工内耳							
	商品名	Nucleus Nexa人工内耳インプラント							
	商品コード	P1979576、Z334204、P1434929							
	機種番号	CI1012、CI1022、CI1032							
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	シリコンゴム、チタン、白金、白金イリジウム							
	MR適合性標識	MR conditional							
	安全性(臨床)コメント	・本品は、植込みをしたままの状態 で 3.0T までの磁気共鳴画像診断装置 (MR装置) による検査を実施することができる。 ・非臨床試験によって本品は MR Conditional であることが示されている。 ・本品を植込んだ患者に対して、以下に示される条件下においては、安全に MRI 検査を実施することが可能である。詳細についてはコクレア社のMRI検査ガイドラインを参照すること。 ・コクレア人工内耳システムの体外装置 (サウンドプロセッサ、リモートアシスタント、関連アクセサリ等) は MR 禁忌である。人工内耳装用者が MRI 検査室に入る前に全ての体外装置を外すよう指示すること。							
許容される使用条件	許容される使用条件の詳細	CI1032を植込んでおり、静磁場強度が1.5Tで、かつ、撮像部位が頭頂から椎骨T1及び頭頂から40cmまでの場合	CI1032を植込んでおり、静磁場強度が1.5Tで、かつ、撮像部位が頭頂から 40cm以上の場合	CI1012を植込んでおり、静磁場強度が3.0Tで、かつ、撮像部位が頭頂から椎骨T1及び頭頂から40cmまでの場合	CI1012を植込んでおり、静磁場強度が3.0Tで、かつ、撮像部位が頭頂から 40cm以上の場合	CI1022を植込んでおり、静磁場強度が3.0Tで、かつ、撮像部位が頭頂から椎骨T1及び頭頂から40cmまでの場合	CI1022を植込んでおり、静磁場強度が3.0Tで、かつ、撮像部位が頭頂から 40cm以上の場合	CI1032を植込んでおり、静磁場強度が3.0Tで、かつ、撮像部位が頭頂から椎骨T1及び頭頂から40cmまでの場合	CI1032を植込んでおり、静磁場強度が3.0Tで、かつ、撮像部位が頭頂から 40cm以上の場合
	静磁場強度 [T]	1.5T	1.5T	3T	3T	3T	3T	3T	3T
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T	20T/m	20T/m						
	同上 3T			20T/m	20T/m	20T/m	20T/m	20T/m	20T/m
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T	≦2.0W/kg	≦2.0W/kg						
	同上 3T			≦0.7W/kg	≦2.0W/kg	≦1.6W/kg	≦2.0W/kg	≦1.4W/kg	≦2.0W/kg
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μ T] 1.5T								
	同上 3T								
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]								
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T								
	同上 3T								
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T								
	同上 3T								
	その他の使用条件	・MRI検査静磁場強度: 1.5T ・静磁場強度の勾配: 2000 gauss/cm ・MR装置が示す最大SAR(Specific Absorption Rate) [磁場強度] 1.5T [モデル] CI1032 [頭部(W/kg)] ≦ 1.9 [全身 (W/kg)頭頂から椎骨T1 まで及び頭頂から40cm まで] ≦ 2.0	・MRI検査静磁場強度: 1.5T ・静磁場強度の勾配: 2000 gauss/cm ・MR装置が示す最大SAR(Specific Absorption Rate) [磁場強度] 1.5T [モデル] CI1032 [頭部(W/kg)] ≦ 1.9 [全身 (W/kg)頭頂から40cm以上] ≦ 2.0	・MRI検査静磁場強度: 3.0T ・静磁場強度の勾配: 2000 gauss/cm ・MR装置が示す最大SAR(Specific Absorption Rate) [磁場強度] 3.0T [モデル] CI1012 [頭部(W/kg)] ≦ 0.8 [全身 (W/kg)頭頂から椎骨T1 まで及び頭頂から40cm まで] ≦ 0.7	・MRI検査静磁場強度: 3.0T ・静磁場強度の勾配: 2000 gauss/cm ・MR装置が示す最大SAR(Specific Absorption Rate) [磁場強度] 3.0T [モデル] CI1012 [頭部(W/kg)] ≦ 0.8 [全身 (W/kg)頭頂から40cm以上] ≦ 2.0	・MRI検査静磁場強度: 3.0T ・静磁場強度の勾配: 2000 gauss/cm ・MR装置が示す最大SAR(Specific Absorption Rate) [磁場強度] 3.0T [モデル] CI1022 [頭部(W/kg)] ≦ 1.8 [全身 (W/kg)頭頂から椎骨T1 まで及び頭頂から40cm まで] ≦ 1.6	・MRI検査静磁場強度: 3.0T ・静磁場強度の勾配: 2000 gauss/cm ・MR装置が示す最大SAR(Specific Absorption Rate) [磁場強度] 3.0T [モデル] CI1022 [頭部(W/kg)] ≦ 1.8 [全身 (W/kg)頭頂から40cm以上] ≦ 2.0	・MRI検査静磁場強度: 3.0T ・静磁場強度の勾配: 2000 gauss/cm ・MR装置が示す最大SAR(Specific Absorption Rate) [磁場強度] 3.0T [モデル] CI1032 [頭部(W/kg)] ≦ 1.5 [全身 (W/kg)頭頂から椎骨T1 まで及び頭頂から40cm まで] ≦ 1.4	・MRI検査静磁場強度: 3.0T ・静磁場強度の勾配: 2000 gauss/cm ・MR装置が示す最大SAR(Specific Absorption Rate) [磁場強度] 3.0T [モデル] CI1032 [頭部(W/kg)] ≦ 1.5 [全身 (W/kg)頭頂から40cm以上] ≦ 2.0
	特記事項	最大MR検査時間: 制限なし MRI スキャンは、直交モード又は CP モードで実行すること。 RF 送信コイルでのマルチチャンネルモードでの実施は、局所的に安全レベルを超えた温度上昇になる可能性がある。							
安全性・有効性を示す試験結果	温度上昇 [°C] 1.5T								
	同上 3T								
	アーチファクト [mm] 1.5T	68mm (SE,磁石カセットあり)							
	同上 3T	65mm (SE,磁石カセットあり)							
	特記事項	・本品がMR装置による撮像で生じうるアーチファクトは本品の実像から以下の距離となる。 ＜磁石カセットあり / MARSターボスピエコー＞ 6.8 cm (1.5T) 6.5 cm (3.0T) ＜磁石カセットなし / MARS ターボスピエコー＞ 2.7 cm (1.5T) 3.3 cm (3.0T) ・MR 画像の画質は、インプラントによる影響を受けることになる。そのため、インプラント近辺の診断情報は失われる。また、磁石を取り外すことは患者に感染のリスクを伴う。これらを踏まえて、MRI検査を実施することの医学的必要性を考慮すること。							
薬事情報	承認番号/認証番号/届出番号	30700BZX00049000							
	添付文書上の販売名	コクレアインプラントNexa							
	製造販売元	株式会社日本コクレア							
	JMDNコード／一般的名称 (一般名)	35643000 / 人工内耳							
	添付文書の最終改訂日	2026年5月 (第1版)							

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	骨固定型補聴器		
	商品名	接合子付骨導端子BIA300 接合子BA300+アバットメント・スクリュー フレンジ骨導端子BI300	OSI300インプラント	
	商品コード	92126、92127、92346、92130、92131、93357、92128、92129	P1772248	
	機種番号	—	—	
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	チタン、チタン合金	—	
	MR適合性標識	MR conditional	MR conditional	
	安全性(臨床)コメント	・MRI との併用について BIA300 インプラント(骨導端子 BI300 及び接合子 BA300)はMRI と併用が可能である。併用する MRI は以下の条件を遵守すること。	・インプラントに磁石が入ったままの状態で、Osia MRI キットを使用して 3.0T までの MRI 検査を実施することができる。 ・非臨床試験によって、OSI300 インプラントと骨導端子の組合せはMR Conditional であることが示されている。本品を植込んだ患者に対して、以下に示される条件下においては、安全に MRI 検査を実施することが可能である。詳細についてはコクレア社の MRI 検査ガイドラインを参照すること。	
許容される使用条件	許容される使用条件の詳細	—	1.5Tの場合	3.0Tの場合
	静磁場強度 [T]	1.5T,3T	1.5T	3T
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T	30T/m	20T/m	
	同上 3T	30T/m		20T/m
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T	2W/kg	2W/kg	
	同上 3T	2W/kg		2W/kg
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μ T] 1.5T			
	同上 3T			
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]			
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T			
	同上 3T			
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T			
	同上 3T			
	その他の使用条件	・静磁場が 1.5 テスラ及び 3 テスラ ・最大空間的傾斜磁場強度が 3,000 Gauss/cm(30 T/m) ・最大全身平均比吸収率(SAR)が 2 W/kg、または最大頭部平均 SAR が 3.2 W/kg	・静磁場強度:1.5T ・静磁場強度の最大勾配:2,000Gauss/cm (20T/m) ・MR 装置が示す最大 SAR (Specific Absorption Rate) 全身 SAR:2W/kg (1.5T) 頭部 SAR:3.2W/kg (1.5T)	・静磁場強度:3.0T ・静磁場強度の最大勾配:2,000Gauss/cm (20T/m) ・MR 装置が示す最大 SAR (Specific Absorption Rate) 全身 SAR:2W/kg (3.0T) 頭部 SAR:3.2W/kg (3.0T) ・3.0T の MRI 検査は円偏波モードで行うこと。[マルチチャンネルモードを使用すると局所的に過熱する恐れがある。]
	特記事項	・併用禁忌(併用しないこと):サウンドプロセッサ MRI(磁気共鳴画像診断)を受けるときは、事前にサウンドプロセッサを外すこと。インプラントと接合子を取り出す必要はない。 〔磁場による吸引、誘導起電力による事故、機器の誤作動などの発生する可能性がある〕	・MRI 検査時の使用方法 インプラントに磁石カセットが入ったままの状態で、3T までの磁気共鳴画像診断装置(MR 装置)による検査を実施することができる。しかし、頭部の MRI 検査等、磁石カセットを取り外す必要がある場合は無菌環境下で外科的に磁石カセットを取り外し、滅菌済非磁性カセットを取り付ける。MRI検査の必要がなくなったら滅菌済非磁性カセットを取り外し、滅菌済交換用磁石カセットを取り付ける。	
安全性・有効性を示す試験結果	温度上昇 [°C] 1.5T	1.1°C(頭部SAR:3.2W/kg,スキャン時間15分,骨導端子BI300及び接合子BA300)		
	同上 3T	1.1°C(頭部SAR:3.2W/kg,スキャン時間15分,骨導端子BI300及び接合子BA300)		
	アーチファクト [mm] 1.5T		96mm(GRE,磁石カセットあり)	
	同上 3T	18mm(撮像法不明,骨導端子BI300及び接合子BA300)	115mm(GRE,磁石カセットあり)	
	特記事項	上記条件で MRI を使用した場合、15 分間スキニングを連続して行った後の骨導端子 BI300 及び接合子 BA300 の温度上昇は、最大で 1.1° C にとどまると予想される。 また、非臨床試験において 3.0 テスラの MR を使用して撮像した場合の骨導端子 BI300 及び接合子 BA300 による画像アーチファクトは、同装置から約 1.8 cm の範囲に及ぶという結果を得ている。接合子 BA300 を取り外すと、アーチファクトはインプラントから 1.2 cm の範囲に減少する。	・本品が MR 装置による撮像で生じるアーチファクトは本品の実像から以下の距離となる。 ＜グラジエントエコー法/勾配エコー、軸平面＞ 磁石カセットあり:9.6cm (1.5T)、11.5cm(3.0T) 磁石を取り外し、非磁性カセットを取り付けた状態:7.9cm(1.5T)、5.4cm (3.0T) ＜MARS 法/スピンエコー＞ 磁石カセットあり:7.5cm (1.5T)、8.4cm(3.0T) 磁石を取り外し、非磁性カセットを取り付けた状態:3.0cm(1.5T)、2.8cm (3.0T)	
業事情報	承認番号/認証番号/届出番号	22300BZX00142000	30600BZX00201000	
	添付文書上の販売名	Cochlear Bahaシステム	骨導インプラントOsiaシステム(OSI300インプラント)	
	製造販売元	株式会社日本コクレア	株式会社日本コクレア	
	JMDNコード／一般的名称(一般名)	34180000／骨固定型補聴器、33993000／骨導式補聴器	34180000／骨固定型補聴器	
	添付文書の最終改訂日	2024年3月第6版	2026年3月(第1版)	

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	人工内耳			
	商品名	Nucleus22 ESPrit22スピーチプロセッサ Nucleus22ヘッドセット・マイクロホン Nucleus22ヘッドセット・送信ケーブル Nucleus22ヘッドセット・接続ケーブル Nucleus22ヘッドセット・送信コイル Nucleus22ヘッドセット・送信コイル/送信ケーブル Freedom22ケーブル付き送信コイル	Nucleus5サウンドプロセッサ Nucleus5システム CP810用送信ケーブル CP810用送信コイル CP810用マグネット マイクロホンカバー イヤフック	Nucleus6CP910サウンドプロセッサ Nucleus6CP920サウンドプロセッサ Nucleus6マグネットリバース マグネット Aqua+送信コイル 送信コイル 送信ケーブル スタンダード充電池 スナグフィット	KANSOサウンドプロセッサ KANSO (I) マグネット マグネット
	商品コード	Z88107、G99010、G99013、Z17522、Z17527、Z17540、Z17542、Z17545、Z17546、Z17660、Z17661、Z17662、Z17663、Z17667、Z17670、Z17671、Z17672、Z17673、Z11609、Z88006、Z88007、Z88008、Z88009、Z88010、Z88011、Z60426、Z60427、Z60428、Z60429、Z60430、Z60431、Z60432、Z60433、Z60434、Z60435、Z60436、Z60437、Z60438、Z60439、Z60440、Z60441、Z60442、Z60443、Z60444、Z60445、Z145926、Z145927、Z145928、Z145929、Z146123、Z146124、Z146125、Z146126、Z146131、Z146132、Z146134、Z146135、Z146138、Z146139、Z146140、Z146141	Z334704、Z334705、Z334706、Z334707、Z334708、Z207507、Z207508、Z207509、Z207510、Z207511、Z207512、Z207513、Z207514、Z207515、Z207516、Z207517、Z207518、Z207519、Z207520、Z207521、Z207523、Z207524、Z207525、Z207526、Z207527、Z206950、Z209880、Z209882、Z209884、Z209886、Z218494、Z218495、Z218496、Z218497、Z218498、Z218500、Z218501、Z218503、Z218504、Z218505、Z218506、Z218507、Z218508、Z218509、Z218510、Z218511、Z218512、Z218513、Z218514、Z218515、Z218516、Z218517、Z218518、Z218519、Z218520、Z218521、Z218522、Z218523、Z218524、Z218525、Z239979、Z206742、Z206743、Z206745	Z452351、Z452352、Z452354、Z452355、Z452353、Z452356、Z452357、Z452358、Z454232、Z454236、Z454243、Z454247、Z454253、Z454269、Z285884、Z285885、Z285902、Z285903、Z285904、Z285905、Z285906、Z285907、Z285908、Z285909、Z285910、Z285911、Z285912、Z285913、Z285914、Z285915、Z285916、Z285917、Z285918、Z285919、Z285920、Z285921、Z285922、Z285923、Z463269、Z463270、Z465779、Z465780、Z285924、Z285925、Z285926、Z285927、Z479485、Z479486、Z479487、Z479488、Z285886、Z285887、Z285888、Z285889、Z285890、Z285891、Z285892、Z285893、Z285894、Z285895、Z285896、Z285897、Z285898、Z285899、Z285900、Z285901、Z299503、Z299504、Z299505、Z299506、Z299507、Z299508、Z299512、Z299513、Z299515、Z299516、Z299517、Z299518、Z299519、Z299521、Z299522、Z299525、Z285983、Z285984、Z285985、Z285986、Z285998、Z285999、Z286000	P771862、P771863、P771866、P771867、P771870、P771872、P771873、P771875、P1473436、P1473438、P1473440、P1473441、P1473442、P737209、P737211、P737213、P737214、P737215、P737216、P737217、Z502922、Z502923、Z502924、Z502925、Z566412、Z566414、Z566415
	機種番号	ESPrIt22	—	—	—
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	—	—	—	—
	MR適合性標識	MR unsafe	MR unsafe	MR unsafe	MR unsafe
	安全性(臨床)コメント	(スピーチプロセッサ及びヘッドセット)MRI装置が設置された室内には入らないこと。 スピーチプロセッサ及びヘッドセットは、MRI装置の磁場により、動作不良が生じるおそれがある。	・磁気共鳴画像診断(MRI)検査のときは本品を検査室に持ち込まないこと。	・磁気共鳴画像診断(MRI)検査のときは本品を検査室に持ち込まないこと。〔磁場による吸引、誘導起電力による事故、機器の誤作動などの発生する可能性がある。〕	・磁気共鳴画像診断(MRI)検査のときは本品を検査室に持ち込まないこと。
許容される使用条件	静磁場強度 [T]				
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T				
	同上 3T				
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T				
	同上 3T				
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μ T] 1.5T				
	同上 3T				
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]				
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T				
	同上 3T				
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T				
	同上 3T				
	その他の使用条件				
安全性・有効性を示す試験結果	特記事項				
	温度上昇 [°C] 1.5T				
	同上 3T				
	アーチファクト [mm] 1.5T				
	同上 3T				
薬事情報	特記事項				
	承認番号/認証番号/届出番号	20300BZY00060000	22300BZX00368000	22500BZX00513000	22900BZX00220000
	添付文書上の販売名	コクレアインプラントミニシステム22	Nucleus CP810サウンドプロセッサ	Nucleus6人工内耳システムサウンドプロセッサ	KANSOサウンドプロセッサ
	製造販売元	株式会社日本コクレア	株式会社日本コクレア	株式会社日本コクレア	株式会社日本コクレア
	JMDNコード／一般的名称(一般名)	35643000／人工内耳	35643000／人工内耳	35643000／人工内耳	35643000／人工内耳
	添付文書の最終改訂日	2025年6月(第8版)	2018年3月第5版	2024年3月第5版	2024年3月第3版

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー		人工内耳		
	商品名	Nucleus7CP1000サウンドプロセッサ Nucleus7N22用Slimlineケーブル付き送信コイル Nucleus7N22用アクアプラス送信コイル Nucleus7Slimlineケーブル付き送信コイル Nucleus7アクアプラス送信コイル Nucleus7ケーブル付き送信コイル Cochlearマグネット Nucleus7マグネット Nucleus7イヤフック スタンダード充電式電池パック	Kanso2サウンドプロセッサ Kanso2マグネット Kanso2リバースマグネット	Nucleus8プロセッシングユニット Nucleus8アクアプラス送信コイル Nucleus8Slimline送信コイル Cochlearマグネット Nucleus8送信コイルキット Nucleus8アクアプラス送信コイルキット Nucleus8Nexaアクアプラス送信コイル Nucleus8Nexa Slimline送信コイル	Kanso3サウンドプロセッサ Kanso3Nexaサウンドプロセッサ
	商品コード	P720779、P720780、P720781、P720782、P720783、P720784、P1550927、P1550928、P1550929、P1550930、P1550952、P1550953、P1550956、P1550957、P1550958、P1550959、P1550961、P1550962、P1550965、P1550971、P1550973、P1550977、P1550978、P1550980、P1550981、P1550982、P1550925、P1550926、P801519、P801573、P801574、P801579、P801583、Z597489、Z597490、Z597491、Z597494、Z597495、Z597496、Z597499、Z597500、Z597501、Z597504、Z597505、Z597506、Z597509、Z597510、Z597511、P1659618、P1659639、P789746、P789747、P1659640、P1659641、P1659642、P1659643、P1659644、P1659645、P1659646、P1659647、P1659648、P1659649、P715025、P715027、P715029、P715030、P715031、P715032、P715033、P715035、P715036、P715037、P715039、P715040、P715042、P715043、P715044、P715045、P715046、P715047、P715048、P715049、P715050、P715051、P715052、P715053、P715054、P715056、P715057、P715061、P715063、P715064、P715065、P715066、P715067、P715068、P715070、P1473233、P1473235、P1473237、P1473238、P1473239、P1473240、P1473243、P1473245、P1473246、P1473247、P1473250、P1473252、P1473253、P1473255、P1473257、P1473258、P1473262、P1473263、P1473269、P1473272、P1473277、P1473283、P1473285、P1473289、P1473296、P1623190、P1623191、P1623192、P1623215、P1623216、Z586124、Z586125、Z586126、Z586128、Z586135、Z586137、Z586139、Z586141、Z586145、Z586146、Z586147、Z586148、Z586149、Z586150、Z586151、Z586152、Z586153、Z586154、Z586155、Z586156、Z586157、Z586158、Z586160、Z586161、Z586162、Z586163、Z586164、Z586165、Z586167、Z586168、Z586169、Z586170、Z586171、Z586172、Z586173、Z544866、Z544550、Z544551、Z544552、Z544553、Z544555	P1320274、P1320275、P1320276、P1320277、P1320278、P1434372、P1434373、P1434374、P1434375、P1434376、P1434378、P1434379、P1540171、P1540172、P1540173、P1540174、P1540175、P1540176、P1434390、P1434391、P1434399、P1434400、P1434401、P1434402、P1434403	P1840111、P1840233、P1840332、P1840403、P1840542、P1840723、P1749707、P1749708、P1749710、P1749711、P1749615、P1749616、P1749617、P1749618、P1749639、P1749640、P1749641、P1749642、P1749643、P1749644、P1749645、P1749646、P1749653、P1749654、P1749655、P1749656、P1749657、P1749658、P1749665、P1749666、P1749667、P1749668、P1749669、P1749670、P1749671、P1749672、P1749673、P1749674、P1749675、P1749676、P1749683、P1749684、P1749685、P1749686、P1749687、P1749688、P1749689、P1749690、P1749691、P1749692、P1749693、P1749694、P1749701、P1749702、P1749703、P1749704、P1749705、P1749706、P1840452、P1840728、P1840730、P1840731、P1840732、P1840735、P1840737、P1840739、P1840740、P1840742、P1840743、P1840751、P1840752、P1840753、P1840754、P1840755、P1840756、P1840757、P1840759、P1840760、KIT01024、KIT01025、KIT01026、KIT01027、KIT01028、KIT01029、KIT01030、KIT01031、KIT01032、KIT01033、KIT01034、KIT01035、KIT01036、KIT01037、KIT01038、KIT01039、KIT01040、KIT01041、KIT01042、KIT01043、KIT01044、KIT01045、KIT01046、KIT01047、KIT01022、KIT01023、P1749709、P1749712、P1749647、P1749648、P1749649、P1749650、P1749651、P1749652、P1749659、P1749660、P1749661、P1749662、P1749663、P1749664、P1749677、P1749678、P1749679、P1749680、P1749681、P1749682、P1749695、P1749696、P1749697、P1749698、P1749699、P1749700	P1884773、P1884774、P1884775、P1884776、P1884777、P1884798、P1884799、P1884800、P1884801、P1884802
	機種番号	—	—	—	—
	添付文書記載の材質	—	—	—	—
MRI検査に関する安全情報	MR適合性標識	MR unsafe	MR unsafe	MR unsafe	MR unsafe
	安全性(臨床)コメント	磁気共鳴画像診断(MRI)検査のときは本品を検査室に持ち込まないこと。〔磁場による吸引、誘導起電力による事故、機器の誤作動などの発生する可能性がある〕	磁気共鳴画像診断(MRI)検査のときは本品を検査室に持ち込まないこと。〔磁場による吸引、誘導起電力による事故、機器の誤作動などの発生する可能性がある〕	磁気共鳴画像診断(MRI)検査のときは本品を検査室に持ち込まないこと。〔磁場による吸引、誘導起電力による事故、機器の誤作動などの発生する可能性がある〕	磁気共鳴画像診断(MRI)検査のときは本品を検査室に持ち込まないこと。〔磁場による吸引、誘導起電力による事故、機器の誤作動等の発生する可能性がある〕
許容される使用条件	静磁場強度 [T]				
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T				
	同上 3T				
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T				
	同上 3T				
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μT] 1.5T				
	同上 3T				
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]				
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T				
	同上 3T				
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T				
	同上 3T				
	その他の使用条件				
安全性・有効性を示す試験結果	特記事項				
	温度上昇 [°C] 1.5T				
	同上 3T				
	アーチファクト [mm] 1.5T				
	同上 3T				
薬事情報	特記事項				
	承認番号/認証番号/届出番号	23000BZX00310000	30300BZX00273000	30500BZX00187000	30700BZX00039000
	添付文書上の販売名	Nucleus7サウンドプロセッサ	Kanso2サウンドプロセッサ	Nucleus8サウンドプロセッサ	Kanso3サウンドプロセッサ
	製造販売元	株式会社日本コクレア	株式会社日本コクレア	株式会社日本コクレア	株式会社日本コクレア
	JMDNコード／一般的名称(一般名)	35643000／人工内耳	35643000／人工内耳	35643000／人工内耳	35643000／人工内耳
	添付文書の最終改訂日	2024年3月第4版	2024年4月第4版	2026年3月第3版	2026年6月(第2版)

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	骨固定型補聴器
	商品名	Osia2 (I) サウンドプロセッサキット Osia2 (I) サウンドプロセッサ用マグネット
	商品コード	P1900830、P1900472、P1900824、P1900825、P1900826
	機種番号	—
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	—
	MR適合性標識	MR unsafe
	安全性（臨床）コメント	本品は MR Unsafe であり、MRI 検査は禁忌とする。MRI 検査のときは本品を検査室に持ち込まないこと。[磁場による吸引、誘導起電力による事故、機器の誤動作などが発生する可能性がある。]
許容される使用条件	静磁場強度 [T]	
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T	
	同上 3T	
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T	
	同上 3T	
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μ T] 1.5T	
	同上 3T	
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]	
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T	
	同上 3T	
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T	
	同上 3T	
	その他の使用条件	
安全性・有効性を示す試験結果	特記事項	
	温度上昇 [°C] 1.5T	
	同上 3T	
	アーチファクト [mm] 1.5T	
	同上 3T	
薬事情報	特記事項	
	承認番号/認証番号/届出番号	30600BZX00201000
	添付文書上の販売名	骨導インプラントOsiaシステム（Osia2／Osia2 (I) サウンドプロセッサ）
	製造販売元	株式会社日本コクレア
	JMDNコード／一般的名称（一般名）	34180000／骨固定型補聴器
	添付文書の最終改訂日	2026年3月（第2版）

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	人工内耳					
	商品名	※本製品は2026年3月末で販売終了。最新製品情報および添付文書はP24の製造販売元: 日本バイオニクス「ハイレゾウルトラ」(23100BZX00059000)を参照。 ハイレゾウルトラ MS電極			※本製品は2026年3月末で販売終了。最新製品情報および添付文書はP25の製造販売元: 日本バイオニクス「ハイレゾウルトラ3D」(30500BZX00170000)を参照。 ハイレゾウルトラ3D MS電極 ハイレゾウルトラ3D SlimJ電極		
	商品コード	NB462			NB600、NB601		
	機種番号	CI-1600-04			CI-1601-04、CI-1601-05		
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	シリコーン、チタン、プラチナ、ポリテトラフルオロエチレン			シリコーン、チタン、プラチナ、ポリテトラフルオロエチレン		
	MR適合性標識	MR conditional			MR conditional		
	安全性(臨床)コメント	・人工内耳手術後にMRI検査を行うときは、炎症を予防するため、最低2週間(2～4週間ほど)空けてください。 ・人工内耳用サウンドプロセッサ(体外部構成品)は、MRI非対応です。MRI検査室に入る前に取り外してください。 ・MRI検査の実施にあたっては、他の画像診断装置による検査に代替可能かどうかを十分に検討してください。 ・MRI検査後に不快症状が続く場合には、医師に相談するように患者に指導してください。 ・左右両方の耳に人工内耳を植え込んでいる場合、両方のインプラントMRIに適合していることを事前に確認してください。適合してしないインプラントの場合は、機器の変位、損傷、マグネットの変位、患者の不快感、または患者の外傷や痛みを引き起こす可能性があります。 ・MRI検査の準備は、MRI検査室の外で行ってください。			・人工内耳用サウンドプロセッサ(体外部構成品)は、MRI非対応です。MRI検査室に入る前に取り外してください。 ・左右両方の耳に人工内耳を植え込んでいる場合、両方のインプラントがMRIに適合していることを事前に確認してください。適合していないインプラントの場合は、機器の変位、損傷、マグネットの変位、患者の不快感、または患者の外傷や痛みを引き起こす可能性があります。 ・人工内耳手術後にMRI検査を行うときは、炎症を予防するため、最低2週間(2～4週間ほど)空けてください。 ・MRI検査中、インプラント部位で痛みや圧迫感、不快感を感じる場合があります。そのような場合には医師に相談するように患者に指導してください。 ・MRI検査の実施にあたっては、他の画像診断装置による検査に代替可能かどうかを十分に検討してください。 ・検査中、患者さんが聴覚を感じる場合があります。MRI検査を行う前に、患者さんに十分なカウンセリングを行うことをおすすめします。低い比吸収率(SAR)と低い傾斜磁場スルーレートを選択することで、聴覚的な感覚の可能性と強度を低減することができます。 ・非臨床試験によって本品はMR Conditionalであることが示されています。本品を装着した患者に対して、以下に示される条件下においては、安全にMRI検査を実施することが可能です。		
	許容される使用条件の詳細	—		—		—	
許容される使用条件	静磁場強度 [T]	3T	1.5T	1.5T	3T	1.5T	
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T		20T/m	20T/m		20T/m	
	同上 3T	20T/m			20T/m		
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T		≤2W/kg	≤2W/kg		≤2.0W/kg	
	同上 3T	≤2W/kg			≤2.0W/kg		
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μ T] 1.5T						
	同上 3T						
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]				200T/m/s	200T/m/s	
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T						
	同上 3T						
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T						
	同上 3T						
	その他の使用条件	・スキャナーの種類: 水平式クローズドボアスキャナ ・頭部SAR: ≤3.2W/kg ・撮像可能部位: 全身 ・最大空間勾配: 2000Gauss/cm (20T/m) ・RMS 勾配磁場: 30T/s ・ピーク勾配磁場: 150T/s ・患者が発熱している場合には、MRI検査を実施しないでください。 ・MRI検査中は、常に注意深く患者の状態を監視してください。			[スキャナーの種類] 水平式クローズドボアスキャナ [静磁場強度] 3.0 T [全身平均SAR] ≤2.0 W/kg (通常操作モード) [頭部平均SAR] ≤2.6 W/kg [最大空間勾配] 20 T/m [RMS勾配磁場] 34.4 T/s [ピークスルーレート] 200 T/m/s ・患者が発熱している場合には、MRI検査を実施しないでください。		[スキャナーの種類] 水平式クローズドボアスキャナ [静磁場強度] 1.5 T [全身平均SAR] ≤2.0 W/kg (通常操作モード) [頭部平均SAR] ≤3.2 W/kg [最大空間勾配] 20 T/m [RMS勾配磁場] 34.4 T/s [ピークスルーレート] 200 T/m/s ・患者が発熱している場合には、MRI検査を実施しないでください。
	特記事項	・マグネットの取り外しあり ・マグネットを取り外して検査する場合 手術により、頭部に植え込んだインプラント内からマグネットを取り外し、ダミーマグネットに置き換えてMRI検査を実施します。 ・MRI検査前にインプラント内のマグネットを取り外す際は、手術器具によりシリコンオーバーモールドを損傷しないように慎重に行ってください。	・マグネットの取り外しあり ・マグネットを取り外して検査する場合 手術により、頭部に植え込んだインプラント内からマグネットを取り外し、ダミーマグネットに置き換えてMRI検査を実施します。 ・MRI検査前にインプラント内のマグネットを取り外す際は、手術器具によりシリコンオーバーモールドを損傷しないように慎重に行ってください。	・マグネットの取り外しなし ・マグネットを留置したまま検査する場合 インプラント内のマグネットを取り外さずにMRI検査を実施する場合は、MRIアンテナコイルカバーでマグネットが動かないようにして検査を実施します。 ①8cm程度の伸縮包帯とMRIアンテナコイルカバーを準備します。 ②インプラント植え込み部位(皮弁)の上からインプラント内のマグネット上にMRIアンテナコイルカバーをあてがい、マグネット上からずれないように指で押さえながら伸縮包帯を頭部に3回ほど巻き付けて固定します。 ・マグネットを留置したままMRI検査を実施する場合には、MRIアンテナコイルカバーを使用して、インプラント内のマグネットが動かないように固定してください。インプラント内のマグネットを固定しないと、マグネットの位置がずれ、手術による位置修正が必要となる可能性があります。 ・MRIアンテナコイルカバーを使用してMRI検査を実施した場合、インプラント部位で不快感や痛みが発生する可能性があります。検査後も痛みが続く場合には医師に相談するように患者に指導してください。	・本品はマグネットを留置したまま3TのMRI撮影が可能です。 ・マグネットを取り外して検査する場合 手術により、頭部に植え込んだインプラント内からマグネットを取り外し、3D用 ノンマグネティック プラグに置き換えてMRI検査を実施します。 ・MRI検査前にインプラント内のマグネットを取り外す際は、手術器具によりシリコンオーバーモールドを損傷しないように慎重に行ってください。		
	安全性・有効性を示す試験結果	温度上昇 [°C] 1.5T	3℃未満(頭部SAR:3.2W/kg以下)			3℃未満(頭部SAR:3.2W/kg以下,スキャン時間15分)	
		同上 3T	3℃未満(頭部SAR:3.2W/kg以下)			3℃未満(頭部SAR:2.6W/kg以下,スキャン時間15分)	
		アーチファクト [mm] 1.5T				82mm (GRE,両耳:マグネットインの場合)	
		同上 3T				74mm (GRE,両耳:マグネットインの場合)	
		特記事項	・上記条件で本品に生じ得る最大の温度上昇は3℃未満です。 ・インプラント周辺のMRIの撮影は行えません。インプラント周辺の画像アーチファクトは、マグネットを取り外して検査を実施した場合、最大5cm、マグネットを留置したまま検査を実施した場合は9.5cm以上の範囲におよびます。			・上記条件で15分間の連続スキャンにおいて本品に生じ得る最大の温度上昇は3℃未満です。 ・アーチファクトを低減することが臨床的に有益な場合(例えば、頭頸部のスキャンなど)には、内部のマグネットを外科的に除去して一時的に3D用 ノンマグネティックプラグに交換することができます。本品は、5回の交換サイクルが可能です。 ・本品が3.0 T、1.5 TのMRI装置における勾配磁場エコー法による撮像で生じるアーチファクトは、本品の実像から以下の範囲となります。 ・3.0 TのMRI装置の場合 片耳: マグネットイン 5.5～6.9 cm 片耳: マグネットアウト 1.4～4.2 cm 両耳: マグネットイン 6.1～7.4 cm 両耳: マグネットアウト 1.9～6.9 cm ・1.5 TのMRI装置の場合 片耳: マグネットイン 4.1～6.5 cm 片耳: マグネットアウト 2.4～3.2 cm 両耳: マグネットイン 5.7～8.2 cm 両耳: マグネットアウト 3.4～4.1 cm	
薬事情報	承認番号/認証番号/届出番号	23100BZX00059000			30500BZX00170000		
	添付文書上の販売名	ハイレゾウルトラ			ハイレゾウルトラ3D		
	製造販売元	日本光電工業株式会社			日本光電工業株式会社		
	JMDNコード／一般的名称(一般名)	35643000／人工内耳			35643000／人工内耳		
	添付文書の最終改訂日	2022年7月改訂(第3版)			2023年8月作成(第1版)		

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	人工内耳
	商品名	※本製品は2026年3月末で販売終了。最新製品情報および添付文書はP28の製造販売元:日本バイオニクス「ナイーダCI」(22900BZX00234000)を参照。 ナイーダCISTARTキット ユニバーサルヘッドピース UHPケーブル アクアマイクヘッドピース アクアマイクケーブル T-マイク2 ナイーダクロス クロススリムチューブ ストッパー ドーム型耳せん ナイーダCIコネクト
	商品コード	CI-5280-CP、CI-5280-PP、CI-5280-R、CI-5280-SG、CI-5280-VB、NB434、NB317、NB319、NB320、NB435、NB323、NB318、NB324、NB325、NB326、NB327、NB328、NB329、NB330、NB331、NB332、NB333、NB334、NB335、NB336、NB337、NB338、NB271、NB272、NB273、NB274、NB275、NB276、NB277、NB278、NB279、NB280、NB281、NB285、NB282、NB283、NB284、NB468
MRI検査に関する安全情報	機種番号	CI-5315、CI-5305、CI-5415-201、CI-5415-202、CI-5415-206、CI-5415-205、CI-5306、CI-5414-201、CI-5414-202、CI-5414-203、CI-5414-204、CI-5414-205、CI-5414-206、CI-5414-501、CI-5414-502、CI-5414-503、CI-5414-504、CI-5414-505、CI-5414-506、CI-5835-100、CI-5835-200、CI-5835-300、050-0224-P6、050-0224-P8、050-0224-P9、054-0686、054-0687、054-0688、054-0689、054-0690、054-0691、054-0692、054-0693、004-0628-001、054-1987、054-1988、054-1989、314-M001-P8
	添付文書記載の材質	ポリカーボネート、ABS、熱可塑性ポリウレタン、ポリエステル、ポリエーテルブロックアミド、メチルメタクリレートアクリロニトリルブタジエンスチレン、シリコーン
	MR適合性標識	MR unsafe
安全性・有効性を示す試験結果	安全性(臨床)コメント	【禁忌・禁止】 ・磁気共鳴画像診断装置(MRI装置)〔誘導起電力による局所的な発熱で、インプラント埋め込み部位で熱傷を生じることがあります。〕 ・ナイーダクロスに関する注意事項 レントゲン撮影、CTスキャン、MRIなどの画像診断装置による検査を受ける場合は、ナイーダcrossを外し、検査室に持ち込まないでください。 ・ナイーダCIコネクトに関する注意事項 以下のような放射線が含まれる特殊な医療や歯科の検査は、製品の正常な動作に影響を与える可能性があります。 ーMRI/NMRIスキャンを使用した、磁場を発生させる医療検査。
	許容される使用条件	静磁場強度 [T] 静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T 同上 3T MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T 同上 3T MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μ T] 1.5T 同上 3T 傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s] dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T 同上 3T 許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T 同上 3T その他の使用条件 特記事項
	安全性・有効性を示す試験結果	温度上昇 [°C] 1.5T 同上 3T アーチファクト [mm] 1.5T 同上 3T 特記事項
薬事情報	承認番号/認証番号/届出番号	22900BZX00234000
	添付文書上の販売名	ナイーダCI
	製造販売元	日本光電工業株式会社
	JMDNコード／一般的名称(一般名)	35643000／人工内耳
	添付文書の最終改訂日	2024年10月改訂(第3版)

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	人工内耳				
	商品名	90Kアドバンテージijインプラント 90KアドバンテージHelixインプラント 90Kアドバンテージミッドスカラインプラント 90Kインプラントミッドスカラ ハイレゾ90Kインプラントij	ハイレゾ90KインプラントHelix	※こちらはP22の製造販売元：日本光電工業「ハイレゾウルトラ」(23100BZX00059000)の承継品。 製品販売状況は現在確認中。		
	商品コード	CI-1500-01、CI-1500-02H、CI-1500-04、CI-1500-04、CI-1400-01	CI-1400-02H	—		
	機種番号	—	—	—		
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	チタン、窒化チタン、シリコン、プラチナ、プラチナ・イリジウム合金、アルミニウム、ABS樹脂、PC/ABS、PVC樹脂、ステンレス鋼、マクロロン2558、ポリカーボネート樹脂	チタン、窒化チタン、シリコン、プラチナ、プラチナ・イリジウム合金、ステンレス鋼	シリコン、チタン、プラチナ、ポリテトラフルオロエチレン		
	MR適合性標識	MR conditional	MR conditional	MR conditional		
	安全性(臨床)コメント	・MRI 検査室に入る前にはサウンドプロセッサとヘッドピースを外すこと。 ・MRI 検査を受ける前に、患者のインプラントからマグネットを外科的に取り出し、ダミーマグネットと置換すること。	・MRI 検査を受ける前に、患者のインプラントからマグネットを外科的に取り出すこと。 ・MRI 検査室に入る前にはサウンドプロセッサとヘッドピースを外すこと。	・人工内耳用サウンドプロセッサ(体外部構成品)は、MRI非対応です。MRI検査室に入る前に取り外してください。 ・MRI検査の実施にあたっては、他の画像診断装置による検査に代替可能かどうかを十分に検討してください。 ・MRI検査後に不快症状が続く場合には、医師に相談するように患者に指導してください。 ・左右両方の耳に人工内耳を植え込んでいる場合、両方のインプラントがMRIに適合していることを事前に確認してください。適合していないインプラントの場合は、機器の変位、損傷、マグネットの変位、患者の不快感、または患者の外傷や痛みを引き起こす可能性があります。 ・MRI検査の準備は、MRI検査室の外で行ってください。		
許容される使用条件	許容される使用条件の詳細	ダミーマグネットに置換した状態、および、本インプラントファミリー植込み状態の場合	インプラントからマグネットを外科的に取り出した場合	—	—	—
	静磁場強度 [T]	0.3T,1.5T	0.3T,1.5T	3T	1.5T	1.5T
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T				20T/m	20T/m
	同上 3T			20T/m		
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T				≤2W/kg	≤2W/kg
	同上 3T			≤2W/kg		
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μ T] 1.5T					
	同上 3T					
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]					
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T					
	同上 3T					
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T					
	同上 3T					
	その他の使用条件	・MRI 検査は、上記の通りダミーマグネットに置換した状態で、1.5 テスラ/64MHz あるいは 0.3 テスラ/12MHz で、本インプラントファミリー植込み状態で使用可能である。 ・MRI のパラメータは頭部で1.0W/Kgの特定吸収率(SAR)以下を保証するよう設定されなければならない。	・必ず 0.3 テスラ又は 1.5 テスラの磁場強度の MRI システムを使用すること ・頭部の特定吸収率 (SAR) が 1.0 W/kgとなるよう MRI イメージングパラメータを選択すること。	[スキャナーの種類] 水平式クローズドボアスキャナ [頭部SAR] ≤3.2W/kg [撮像可能部位] 全身 [最大空間勾配] 2000Gauss/cm (20T/m) [RMS勾配磁場] 30T/s [ピーク勾配磁場] 150T/s ・人工内耳手術後にMRI検査を行うときは、炎症を予防するため、最低2週間(2～4週間ほど)空けてください。 ・患者が発熱している場合には、MRI検査を実施しないでください。 ・MRI検査中は、常に注意深く患者の状態を監視してください。		
	特記事項	・MRI 検査中は常に患者に対して連続的に目視および声をかけながら注意深く監視を行うこと。 ・MRI の使用については、仕様書：Magnetic Resonance Imaging (MRI) for HiRes 90K and HiRes 90K Advantage Cochlear Implants, 029-M353-88 を参照するか、日本バイオニクスカスタマーサービスに連絡すること。	・MRI 検査中は常に患者に対して連続的に目視および声をかけながら注意深く監視を行うこと。	・マグネットの取り外し：あり ・マグネットを取り外して検査する場合 手術により、頭部に植え込んだインプラント内からマグネットを取り外し、ダミーマグネットに置き換えてMRI検査を実施します。 ・MRI検査前にインプラント内のマグネットを取り外す際は、手術器具によりシリコンオーバーモールドを損傷しないように慎重に行ってください。	・マグネットの取り外し：あり ・マグネットを取り外して検査する場合 手術により、頭部に植え込んだインプラント内からマグネットを取り外し、ダミーマグネットに置き換えてMRI検査を実施します。 ・MRI検査前にインプラント内のマグネットを取り外す際は、手術器具によりシリコンオーバーモールドを損傷しないように慎重に行ってください。	・マグネットの取り外し：なし ・マグネットを留置したまま検査する場合 インプラント内のマグネットを取り外さずにMRI検査を実施する場合は、MRIアンテナコイルカバーでマグネットが動かないようにして検査を実施します。 ①8cm程度の伸縮包帯とMRIアンテナコイルカバーを準備します。 ②インプラント植え込み部位(皮弁)の上からインプラント内のマグネット上にMRIアンテナコイルカバーをあてがい、マグネット上からずれないように指で押さえながら伸縮包帯を頭部に3回ほど巻き付けて固定します。 ・マグネットを留置したままMRI検査を実施する場合には、MRIアンテナコイルカバーを使用して、インプラント内のマグネットが動かないように固定してください。インプラント内のマグネットを固定しないと、マグネットの位置がずれ、手術による位置修正が必要となる可能性があります。 ・MRIアンテナコイルカバーを使用してMRI検査を実施した場合、インプラント部位で不快感や痛みが発生する可能性があります。検査後も痛みが続く場合には医師に相談するように患者に指導してください。
安全性・有効性を示す試験結果	温度上昇 [°C] 1.5T			3℃未満(頭部SAR:3.2W/kg以下)		
	同上 3T			3℃未満(頭部SAR:3.2W/kg以下)		
	アーチファクト [mm] 1.5T					
	同上 3T					
	特記事項	・MRI 画像の70cm2程度が影になり診断に影響するが、この影は信号処理パラメータの調整により最少限に留めることができる。	インプラントへの力の負荷がかかる。MRI 画像に陰影が生じて診断に差し支えることがある。(インプラント周囲 6 cm 程度)	・上記条件で本品に生じ得る最大の温度上昇は3℃未満です。 ・インプラント周辺のMRIの撮影は行えません。インプラント周辺の画像アーチファクトは、マグネットを取り外して検査を実施した場合、最大5cm、マグネットを留置したまま検査を実施した場合は9.5cm以上の範囲におよびます。		
薬事情報	承認番号/認証番号/届出番号	22000BZY00010000	22000BZY00011000	23100BZX00059000		
	添付文書上の販売名	ハイレゾバイオニックイヤーステム	ハイレゾ90K Helixインプラント	ハイレゾウルトラ		
	製造販売元	株式会社日本バイオニクス	株式会社日本バイオニクス	株式会社日本バイオニクス		
	JMDNコード／一般的名称(一般名)	35643000／人工内耳	35643000／人工内耳	35643000／人工内耳		
	添付文書の最終改訂日	2017年11月24日第5版(新記載要領に基づく改訂)	2010年10月4日第2版	2026年6月作成(第1版)		

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	人工内耳	
	商品名	※こちらはP22の製造販売元：日本光電工業「ハイレゾウルトラ3D」(30500BZX00170000)の承継品。 ハイレゾウルトラ3D MS電極 ハイレゾウルトラ3D SlimJ電極	
	商品コード	300-Q107、300-Q108	
	機種番号	CI-1601-04、CI-1601-05	
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	シリコーン、チタン、プラチナ、ポリテトラフルオロエチレン	
	MR適合性標識	MR oonditional	
	安全性(臨床)コメント	・人工内耳用サウンドプロセッサ(体外部構成品)は、MRI非対応です。MRI検査室に入る前に取り外してください。 ・左右両方の耳に人工内耳を植え込んでいる場合、両方のインプラントがMRIに適合していることを事前に確認してください。適合していないインプラントの場合は、機器の変位、損傷、マグネットの変位、患者の不快感、または患者の外傷や痛みを引き起こす可能性があります。 ・MRI検査中、インプラント部位で痛みや圧迫感、不快感を感じる場合があります。そのような場合には医師に相談するように患者に指導してください。 ・MRI検査の実施にあたっては、他の画像診断装置による検査に代替可能かどうかを十分に検討してください。 ・検査中、患者さんが聴覚を感じる場合があります。MRI検査を行う前に、患者さんに十分なカウンセリングを行うことをおすすめします。低い比吸収率(SAR)と低い傾斜磁場スルーレートを選択することで、聴覚的な感覚の可能性と強度を低減することができます。 ・非臨床試験によって本品はMR Conditionalであることが示されています。本品を装着した患者に対して、以下に示される条件下においては、安全にMRI検査を実施することが可能です。	
許容される使用条件	許容される使用条件の詳細	－	－
	静磁場強度 [T]	3T	1.5T
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T		20T/m
	同上 3T	20T/m	
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T		≤2.0W/kg
	同上 3T	≤2.0W/kg	
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μ T] 1.5T		
	同上 3T		
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]	200T/m/s	200T/m/s
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T		
	同上 3T		
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T		
	同上 3T		
	その他の使用条件	[スキャナーの種類]水平式クローズドボアスキャナ [静磁場強度]3.0 T [全身平均SAR]≤2.0 W/kg (通常操作モード) [頭部平均SAR]≤2.6 W/kg [最大空間勾配]20 T/m [RMS勾配磁場]34.4 T/s [ピークスルーレート]200 T/m/s ・人工内耳手術後にMRI検査を行うときは、炎症を予防するため、最低2週間(2～4週間ほど)空けてください。 ・患者が発熱している場合には、MRI検査を実施しないでください。	[スキャナーの種類]水平式クローズドボアスキャナ [静磁場強度]1.5 T [全身平均SAR]≤2.0 W/kg (通常操作モード) [頭部平均SAR]≤3.2 W/kg [最大空間勾配]20 T/m [RMS勾配磁場]34.4 T/s [ピークスルーレート]200 T/m/s ・人工内耳手術後にMRI検査を行うときは、炎症を予防するため、最低2週間(2～4週間ほど)空けてください。 ・患者が発熱している場合には、MRI検査を実施しないでください。
	特記事項	・本品はマグネットを留置したまま3TのMRI撮影が可能です。 ・マグネットを取り外して検査する場合 手術により、頭部に植え込んだインプラント内からマグネットを取り外し、3D用 ノンマグネティック プラグに置き換えてMRI検査を実施します。 ・MRI検査前にインプラント内のマグネットを取り外す際は、手術器具によりシリコンオーバーモールドを損傷しないように慎重に行ってください。	
安全性・有効性を示す試験結果	温度上昇 [℃] 1.5T	3℃未満(頭部SAR:3.2W/kg以下,スキャン時間15分)	
	同上 3T	3℃未満(頭部SAR:2.6W/kg以下,スキャン時間15分)	
	アーチファクト [mm] 1.5T	82mm(GRE,両耳:マグネットインの場合)	
	同上 3T	74mm(GRE,両耳:マグネットインの場合)	
	特記事項	・上記条件で15分間の連続スキャンにおいて本品に生じ得る最大の温度上昇は3℃未満です。 ・アーチファクトを低減することが臨床的に有益な場合(例えば、頭頸部のスキャンなど)には、内部のマグネットを外科的に除去して一時的に3D用 ノンマグネティック プラグに交換することができます。本品は、5回の交換サイクルが可能です。 ・本品が3.0 T、1.5 TのMRI装置における勾配磁場エコー法による撮像で生じうるアーチファクトは、本品の実像から以下の範囲となります。 ・3.0 TのMRI装置の場合 片耳: マグネットイン 5.5～6.9 cm 片耳: マグネットアウト 1.4～4.2 cm 両耳: マグネットイン 6.1～7.4 cm 両耳: マグネットアウト 1.9～6.9 cm ・1.5 TのMRI装置の場合 片耳: マグネットイン 4.1～6.5 cm 片耳: マグネットアウト 2.4～3.2 cm 両耳: マグネットイン 5.7～8.2 cm 両耳: マグネットアウト 3.4～4.1 cm	
薬事情報	承認番号/認証番号/届出番号	30500BZX00170000	
	添付文書上の販売名	ハイレゾウルトラ3D	
	製造販売元	株式会社日本バイオニクス	
	JMDNコード／一般的名称(一般名)	35643000／人工内耳	
	添付文書の最終改訂日	2026年6月作成(第1版)	

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂くか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	人工内耳			
	商品名	クラリオンICS クラリオンスピーチプロセッサ クラリオンヘッドピース ショートレンジヘッドピース ロングレンジヘッドピース	クラリオンSシリーズスピーチプロセッサ クラリオンSシリーズヘッドピース／ヘッドピースケーブル	クラリオンプラチナヘッドピース／BTEケーブル クラリオンプラチナヘッドピース／ヘッドピースケーブル	クラリオンBTEサウンドプロセッサ クラリオンBTEケーブル
	商品コード	AB-5100-L、AB-5100-R、AB-5100L、AB-5100R、AB-7200、AB-5301、MMT-5300-00、MMT-5300-10、AB-5301-00、AB-5301-10	AB-7200、AB-5301/MMT-5401、MMT-5300/MMT-5403	AB-7300/CI-5403、AB-7300/MMT-5401、AB-7300/MMT-5403	CI-5210-300、CI-5210-310、CI-5403-300、CI-5404-300、CI-5404-310、CI-5409-300、CI-5409-310、CI-5403-310
	機種番号	—	—	—	—
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	セラミック、シリコーンゴム、ニオブ/チタン合金、エポキシ樹脂、白金/イリジウム合金、ポリテトラフルオロエチレン	アルミニウム、ABS樹脂	—	—
	MR適合性標識	MR unsafe	MR unsafe	MR unsafe	MR unsafe
	安全性（臨床）コメント	【禁忌・禁止】 磁気共鳴画像診断装置（MRI）	【禁忌・禁止】 磁気共鳴画像診断装置（MRI）	【禁忌・禁止】 磁気共鳴画像診断装置（MRI）	【禁忌・禁止】 磁気共鳴画像診断装置（MRI）
許容される使用条件	静磁場強度 [T]				
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T				
	同上 3T				
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T				
	同上 3T				
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μ T] 1.5T				
	同上 3T				
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]				
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T				
	同上 3T				
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T				
	同上 3T				
	その他の使用条件				
安全性・有効性を示す試験結果	特記事項				
	温度上昇 [°C] 1.5T				
	同上 3T				
	アーチファクト [mm] 1.5T				
	同上 3T				
薬事情報	特記事項				
	承認番号/認証番号/届出番号	21100BZY00466000	21100BZY00682000	21600BZY00189000	21600BZY00190000
	添付文書上の販売名	クラリオン人工内耳システム	クラリオンSシリーズ	クラリオンプラチナサウンドプロセッサ	クラリオンBTEサウンドプロセッサ
	製造販売元	株式会社日本バイオニクス	株式会社日本バイオニクス	株式会社日本バイオニクス	株式会社日本バイオニクス
	JMDNコード／一般的名称（一般名）	35643000／人工内耳	35643000／人工内耳	35643000／人工内耳	35643000／人工内耳
	添付文書の最終改訂日	2015年7月13日第7版	2010年10月4日第5版	2007年2月1日第2版	2007年2月1日第2版

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂るか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

株式会社日本バイオニクス
■Tel:03-5759-2851
■Email:support.japan@advancedbionics.com

製品情報	製品カテゴリー	人工内耳	
	商品名	iコネク アクアマイクヘッドピース アクアマイクヘッドピースケーブル オーリアサウンドプロセッサ オーリアサウンドプロセッサスタータキット オーリアスモールTマイク オーリアTマイク オーリアフラットヘッドピース	オーリアヘッドピース C1ハーモニーサウンドプロセッサスタータキット スタンダードイヤフック スモールiコネク ダイレクトコネク ダイレクトコネクケーブル Tコイル T-マイク
	商品コード	CI-5751-100、CI-5751-200、CI-5751-300、CI-5306、CI-5414-201、CI-5414-202、CI-5414-203、CI-5414-204、CI-5414-205、CI-5414-206、CI-5414-501、CI-5414-502、CI-5414-503、CI-5414-504、CI-5414-505、CI-5414-506、CI-5230-100、CI-5230-200、CI-8500DX(A/D)、CI-8500DX(A/S)、CI-8500DX(C/D)、CI-8500DX(C/S)、CI-5830-120、CI-5830-220、CI-5830-320、CI-5830-100、CI-5830-200、CI-5830-300、CI-5304-124、CI-5304-224、CI-5304-314、CI-5304-133、CI-5304-223、CI-5304-313、CI-8700C1(A/B)、CI-8700C1(A/D)、CI-8700C1(A/S)、CI-5730-100、CI-5730-200、CI-5730-300、CI-5751-120、CI-5751-220、CI-5751-320、CI-5840-200、CI-5841-420、CI-5750、NB089、NB090、NB091、CI-7126-BLK、CI-7126-WHT、CI-5241-BLK、CI-5241-WHT、CI-9410、CI-9420、CI-9410、CI-9420、CI-8700(A/B)、CI-8700(A/D)、CI-8700(A/S)、NB015、NB020、NB021、NB025、NB038、CI-5410-101、CI-5410-102、CI-5410-103、CI-5410-104、CI-5410-105、CI-5410-201、CI-5410-202、CI-5410-203、CI-5410-204、CI-5410-205、CI-5410-301、CI-5410-302、CI-5410-303、CI-5410-304、CI-5410-305、CI-5412-301、CI-5412-302、CI-5412-303、CI-5412-304、CI-5412-305、CI-5412-401、CI-5412-402、CI-5412-403、CI-5412-404、CI-5412-405、CI-5413-201、CI-5413-202、CI-5413-203、CI-5413-204、CI-5413-205、CI-5413-206、CI-5413-301、CI-5413-302、CI-5413-303、CI-5413-304、CI-5413-305、CI-5413-306、CI-5413-401、CI-5413-402、CI-5413-403、CI-5413-404、CI-5413-405、CI-5413-406、CI-5413-501、CI-5413-502、CI-5413-503、CI-5413-504、CI-5413-505、CI-5413-506、CI-5305	
	機種番号	CI-5830-100、CI-5830-200、CI-5830-300、CI-5410-101、CI-5410-201、CI-5410-202、CI-5410-301、CI-5412-404	
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	PC/ABS、ABS樹脂、PVC樹脂、ポリカーボネート/ポリエステル樹脂混合物、水素化イソブレン・プロピレンエラストマー、ポリカーボネート/ポリエステル、ポリカーボネート/アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン	
	MR適合性標識	MR unsafe	
	安全性（臨床）コメント	併用禁忌 MRI 画像診断装置 MRI の使用については、仕様書：Magnetic Resonance Imaging (MRI) for HiRes 90K and HiRes 90K Advantage Cochlear Implants, 029-M353-88 を参照する。 使用不可（MRI稼働状態によらず、設置されている部屋に入室しないこと）	
許容される使用条件	静磁場強度 [T]		
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T		
	同上 3T		
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T		
	同上 3T		
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μ T] 1.5T		
	同上 3T		
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]		
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T		
	同上 3T		
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T		
	同上 3T		
	その他の使用条件		
	特記事項		
安全性・有効性を示す試験結果	温度上昇 [°C] 1.5T		
	同上 3T		
	アーチファクト [mm] 1.5T		
	同上 3T		
	特記事項		
薬事情報	承認番号/認証番号/届出番号	22000BZY00009000	
	添付文書上の販売名	ハイレゾオーリアサウンドプロセッサ（オーリアハーモニーサウンドプロセッサ、ネプチューンサウンドプロセッサ）	
	製造販売元	株式会社日本バイオニクス	
	JMDNコード／一般的名称（一般名）	35643000／人工内耳	
	添付文書の最終改訂日	2025年09月01日第5版	

※本一覧の掲載情報ならびに人工聴覚器に関するお問い合わせは、右記の製造販売メーカーまでお願いいたします。
※本一覧は安全性情報を添付文書の最新版から抜粋して作成しています。過去の安全性情報につきましては右記の製造販売メーカーまでお問い合わせを頂るか、“過去の一覧はこちら”より過去の一覧をご覧ください。
※黄色く色付けられた箇所は前回からの変更点です。

製品情報	製品カテゴリー	人工内耳	
	商品名	※こちらはP23の製造販売元：日本光電工業「ナイーダCI」(22900BZX00234000)の承継品。 現在販売を確認できた製品のみ掲載中。 UHPケーブル アクアマイクヘッドピース アクアマイクケーブル Tーマイク2 ナイーダCIコネクト	マーベルCIスタータキット スカイM CIスタータキット スリムヘッドピース スリムヘッドピースマグネット スリムヘッドピース3Dマグネット スリムヘッドピースアクアマイク M TーMic
	商品コード	304-Q347-Z56、304-Q347-Z5H、304-Q347-Z5J、302-Q021、304-Q116-Y77、304-Q116-Y78、304-Q116-Y7A、304-Q116-Y7C、304-Q116-Y7F、304-Q116-Y7K、304-Q116-Z57、304-Q116-Z58、304-Q116-Z5A、304-Q116-Z5C、304-Q116-Z5F、304-Q116-Z5K、304-Q224、304-Q225、304-Q226、314-M001-P8	MV-5293-120、MV-5293-140、MV-5293-150、SK-5295-150、SK-5295-190、SK-5295-250、NB707、NB708、NB709、NB714、NB715、NB716、NB717、NB718、NB719、NB720、NB721、NB722、NB723、NB724、NB725、NB726、NB727、NB710、NB711、NB712、NB713、NB728、NB729、NB730
	機種番号	CI-5415-206、CI-5415-201、CI-5415-202、CI-5306、CI-5414-502、CI-5414-503、CI-5414-504、CI-5414-505、CI-5414-506、CI-5414-501、CI-5414-202、CI-5414-203、CI-5414-204、CI-5414-205、CI-5414-206、CI-5414-201、CI-5835-100、CI-5835-200、CI-5835-300、056-3001-P8	CI-5320-002、CI-5320-007、CI-5322-001、CI-7524-001、CI-7524-002、CI-7524-003、CI-7524-004、CI-7524-005、CI-7524-006、CI-7524-007、CI-7525-001、CI-7525-002、CI-7525-003、CI-7525-004、CI-7525-005、CI-7525-006、CI-7525-007、CI-5321-002、CI-5321-006、CI-5321-010、CI-5321-014、CI-5837-100、CI-5837-200、CI-5837-300
MRI検査に関する安全情報	添付文書記載の材質	ポリカーボネート、ABS、熱可塑性ポリウレタン、ポリエステル、ポリエーテルブロックアミド、メチルメタクリレートアクリロニトリルブタジエンスチレン、シリコーン	アクリル塗装、フッ化炭素、ポリカーボネート、ポリエステル、ポリエーテルブロックアミド共重合体
	MR適合性標識	MR unsafe	MR unsafe
	安全性（臨床）コメント	【禁忌・禁止】 ・磁気共鳴画像診断装置（MRI装置）[誘導起電力による局所的な発熱で、インプラント埋め込み部位で熱傷を生じることがあります。] ・ナイーダクロスに関する注意事項 レントゲン撮影、CTスキャン、MRIなどの画像診断装置による検査を受ける場合は、ナイーダクロスを外し、検査室に持ち込まないでください。 ・ナイーダCIコネクトに関する注意事項 以下のような放射線が含まれる特殊な医療や歯科の検査は、製品の正常な動作に影響を与える可能性があります。 ーMRI/NMRIスキャンを使用した、磁場を発生させる医療検査。	【禁忌・禁止】 磁気共鳴画像診断装置（MRI 装置）[磁場による吸引、誘導起電力による発熱、機器の誤作動などが生じる可能性がある]
許容される使用条件	静磁場強度 [T]		
	静磁場強度の勾配の最大値 [T/m] 1.5T		
	同上 3T		
	MRI装置の表示上の全身平均SARの最大値 [W/kg] 1.5T		
	同上 3T		
	MRI装置の表示上のB1+RMSの最大値 [μ T] 1.5T		
	同上 3T		
	傾斜磁場スルーレートの最大値 [T/m/s]		
	dB/dtの最大値 [T/s] 1.5T		
	同上 3T		
	許容される連続撮像時間の最大値 [分] 1.5T		
	同上 3T		
	その他の使用条件		
安全性・有効性を示す試験結果	特記事項		
	温度上昇 [°C] 1.5T		
	同上 3T		
	アーチファクト [mm] 1.5T		
	同上 3T		
薬事情報	特記事項		
	承認番号/認証番号/届出番号	22900BZX00234000	30600BZX00283000
	添付文書上の販売名	ナイーダCI	Naida CI M90サウンドプロセッサ
	製造販売元	株式会社日本バイオニクス	株式会社日本バイオニクス
	JMDNコード／一般的名称（一般名）	35643000／人工内耳	35643000／人工内耳
	添付文書の最終改訂日	2026年6月作成(第1版)	2025年1月（第1版）